

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587069501  | 科目番号 / Course code                                       | 05870695             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b1法と人権の多様性 / Legal Pluralism and Human Rights   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 河村 有教   |  |                      |
| 授業担当教員名(科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 河村 有教   |  |                      |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 河村 有教   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟23 / RoomA-23   |  |                      |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class)  | 医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | kawamura nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2953(研究室)   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 事前に連絡してアポイントを取ってください。   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 本授業は、理系の学生を対象として社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、日本の刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法)や日本の刑事裁判例を切り口として、法と人権について学習する。法解釈の多様性を中心に、諸外国における「法」の多様性、「人権」の多様性についてもあわせて学習する。法律の学習に関心のある理系の学生を対象とする法学への入門(入り口)として、基礎的なことから解説する。  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」ことを目的とする(全学共通のディプロマ・ポリシー)。既存の法及び制度を批判的に論じ、よりよい法や制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。<br>オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 教科書については、事前の予習、事後の復習の教材としても役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 法, 人権, 法解釈, 刑法, 刑事訴訟法, 少年法  |  |                      |

|  |   |
|--|---|
| 教科書・教材・参考書/Materials   | <p>【教科書】河村有教ほか編『刑事法判例読解の視点』（晃洋書房，2021年）<br/>教科書・参考書等については、初回の講義で説明を聞き確認したうえで購入してください。</p> <p>『ポケット六法』（有斐閣）の購入をお勧めします（『デイリー六法』（三省堂）も可です）。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。</p>         |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   |   |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br/>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br/>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> |
| 備考/Remarks   | 本講義は、すべて対面で実施する予定です（試験を含みます）。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 法学、法律学に関心のある学生さんを歓迎します。楽しく学習しましょう！  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N   |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course |   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |   |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents   |
| 第1回  | 日本における「法」と法解釈   |
| 第2回  | 正当防衛  |
| 第3回  | 薬物事犯における故意の認定   |
| 第4回  | 過失犯の成否  |
| 第5回  | 量刑  |
| 第6回  | 死刑  |
| 第7回  | ストーカー行為規制法における「見張り」   |
| 第8回  | 強盗罪の「暴行」・「脅迫」   |
| 第9回  | 詐欺罪と窃盗罪   |
| 第10回   | 捜査機関による任意の活動が許される範囲   |
| 第11回   | 被疑者・被告人の身柄拘束と身柄解放   |
| 第12回   | 接見等禁止の裁判に対する準抗告   |
| 第13回   | 違法収集証拠  |
| 第14回   | 少年審判と処分   |
| 第15回   | 「法」・「人権」・「法解釈」の日本の特徴について  |
| 第16回   | 期末試験  |

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587067501  | 科目番号 / Course code                                    | 05870675             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 16431_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b1陶磁器からみた文化の多様性 / Diversity of the Culture from View Point of Ceramics  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 野上 建紀 / Takenori Nogami, 河村 有教  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 野上 建紀 / Takenori Nogami   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 野上 建紀 / Takenori Nogami   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育B棟34 / RoomB-34   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |   |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 総合教育研究棟11階 野上研究室  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-819-2919  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 随時 (メールにて要事前連絡)   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | 考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | 1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。<br>2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。<br>3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。<br>4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | 毎回、質問コメントシートを提出してもらいます。締め切りは授業の週の週末です。成績評価は次のとおりです。<br>課題・質問コメントシートの提出状況 50~70点 (合計点を50~70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終レポート) 30~50点の計100点<br>なお、配点は課題の量によります。  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h)<br>【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)  |   |                      |

|  |  |
|--|--|
| キーワード/Keywords   | 陶磁器、文化交流、水中考古学   |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 『陶磁考古学入門』（2021年 勁草書房）  |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   | 授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 基本的に対面で行いますが、一部をオンラインで行うことがあります。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回（3限）  | 考古学入門（1）   |
| 第3回（3限）  | 考古学入門（2）   |
| 第5回（3限）  | 考古学入門（3）   |
| 第7回（3限）  | 肥前磁器の歴史（1）（磁器生産の開始と本格化）  |
| 第9回（3限）  | 肥前磁器の歴史（2）（海外輸出の始まり）   |
| 第11回（3限）   | 肥前磁器の歴史（3）（唐船・オランダ船による海外輸出）  |
| 第13回（3限）   | 肥前磁器の歴史（4）（ガレオン船による海外輸出）   |
| 第15回（3限）   | オンデマンド：肥前磁器の歴史（5）（展海令と国内市場の開拓）   |
| 第2回（4限）  | オンデマンド：水中考古学の世界  |
| 第4回（4限）  | オンデマンド：陶磁器の考古学。沈没船の研究  |
| 第6回（4限）  | オンデマンド：戦争と考古学  |
| 第8回（4限）  | オンデマンド：国内の調査事例   |
| 第10回（4限）   | オンデマンド：海外の調査事例   |
| 第12回（4限）   | オンデマンド：NHK『ガチアジア』  |
| 第14回（4限）   | オンデマンド：青の道   |
| 第16回（4限）   | 最終試験（レポートになることもあります。）  |

|  |   |  |                      |
|--|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587053301  | 科目番号 / Course code                                       | 05870533             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 15421_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b2音楽と社会 / Music and Community   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus  | 西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 西田 治 / Nishida Osamu  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟22 / RoomA-22, 学生プラザ1F 多目的室1  |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 教育学部本館516室  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 昼休み (事前にメールにてアポイントを取ること)  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | 本講義では、音および音楽を聴くこと、奏でることの意義について考える。私たちは、普段、おそらく「音楽とは何か」「人はなぜ音楽をするのか」などと考えたりはしない。あたり前のようにそばにあるものであろう。本講義では、立ち止まって身近にある音、音楽についてともに考えていこうとするものである。実技も含むが、音楽の得意不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。ビジュアルアートとしての絵画、身体アートとしてのヨガについても一部扱う。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | 音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。<br>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。<br>自らと音楽の関係、音楽を通した他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べる<br>ことができる。<br>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | レポート・提出物 70%<br>出席・講義への参加度 30%<br>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course<br>contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 復習課題：講義内容の振り返り (2h)<br>予習課題：課題文献の要約 (2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords   | 参与型音楽<br>ワークショップ  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 特になし。   |  |                      |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   |   |  |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|--|
| 備考/Remarks   | この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | できるだけ欠席をせず講義に参加すること。<br>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格。   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 西田 治 / 音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | オリエンテーション<br>音で遊ぶ  |
| 第2回  | グループで作る  |
| 第3回  | 音と音楽の間   |
| 第4回  | 音風景と音楽   |
| 第5回  | 体で聴き奏でる  |
| 第6回  | 音による対話   |
| 第7回  | 中間まとめ<br>振り返り  |
| 第8回  | 対話型鑑賞  |
| 第9回  | 身体アートとしてのヨガ 基礎   |
| 第10回   | 身体アートとしてのヨガ 応用   |
| 第11回   | 対話型鑑賞 音楽と美術  |
| 第12回   | パーソナルソング概要   |
| 第13回   | 私のパーソナルソング   |
| 第14回   | 共に奏でることの意味<br>社会における音楽の役割  |
| 第15回   | 再び私の音楽観について  |

|  |   |  |                      |
|--|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587056501  | 科目番号 / Course code                                       | 05870565             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 15501_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b2芸術活動と社会 / Art Projects and Social Engagement  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus  | 北村 史 / Kitamura Fumito, 西田 治 / Nishida Osamu  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 北村 史 / Kitamura Fumito  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 北村 史 / Kitamura Fumito  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟22 / RoomA-22   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 文教キャンパス・研究開発推進機構棟2階・情報データ科学部PBL実習室奥   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-800-4188  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 平日13:00 ~ 14:00   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | 近年、国内各地で大規模な芸術祭が開催されるようになった。それら多くの芸術祭に共通する特徴として、地域の資源を活用した作品作りや、地域社会・住民を巻き込んだプロジェクト型の取り組みがあり、コミュニティ形成の活動にもなっている。本授業では、このような活動を事例として取り上げ、芸術を発端としたコミュニケーションとコミュニティ形成の過程について学んでいく。毎回の授業の後半には、年度ごとに決めたテーマに沿って、グループで作品制作活動に取り組む。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | a. 芸術文化の実践が社会にどのような影響し得るかを自分の言葉で説明できる<br>b. ワークショップ活動の教授学習過程としての特徴を説明できる<br>c. 与えられたテーマについて考え、作品にすることができる   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | (調べ学習個別課題10点×2回)+(掲示板コメント課題10点×3回)+(作品制作25点)+(グループワークへの貢献10点)+(論述テスト15点)=100点満点のうち、60点以上を合格とする。配点については微調整をする場合もある。そのような場合は、その都度知らせる。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 毎回の授業後に予習復習(4h)のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。<br>資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション<br>グループでの準備活動  |  |                      |
| キーワード/Keywords   | 美術、芸術、ソーシャリー・エンゲイジド・アート、ワークショップ、コミュニティ  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 購入指定する教科書はなし。参考とする書籍等については、授業内で紹介する。  |  |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites   |   |  |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |        |
|---|--|--------|
| 備考/Remarks  | 授業は対面形式で実施します。   |        |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 美術、芸術、現代アートに興味のある方に履修をおすすめします。また、授業では体験活動や制作活動に取り組みますので、積極的にそういった活動を楽しめる方でない、不毛な時間となることを期待します。特に制作活動においては、教員と学生の間でフラットにアイデアを交流させられることを期待します。解が一つではない問に対して、より良い解（表現）を探り、こだわりのある答えに行き着けると楽しいと思います。   |        |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y  |        |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 北村史/杉並区立杉並芸術開館「座・高円寺」などでワークショップコーディネータとしての実務経験を有している。/その実務経験を活かし、地域社会の芸術活動について体験を交えた授業を実施する。/  |        |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |        |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  | 授業手法 / |
| 第1回   | オリエンテーション<br>グループ分け（アイスブレイク）<br>芸術経験に関する調査<br>（対面）   | A      |
| 第2回   | お気に入りの作家・作品を見つける<br>制作活動（1）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第3回   | 地域社会と文化事業 瀬戸内国際芸術祭の事例<br>地域社会にとってアートはどんな役割を果たすか<br>アーティストを招く意味、アーティストの職能とは<br>（対面）   | A      |
| 第4回   | お気に入りの作家・作品の紹介<br>制作活動（2）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第5回   | ソーシャリー・エンゲイジド・アートについて<br>体験を作品とするアート<br>ワークショップという活動について<br>（対面）   | A      |
| 第6回   | お気に入りの作家・作品の紹介<br>制作活動（3）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第7回   | レッジョ・エミリア・アプローチ<br>教授学習過程としてのワークショップ<br>ワークショップの活動事例<br>（対面）   | A      |
| 第8回   | 制作活動（4）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第9回   | ワークショップ体験<br>（対面）  | B<br>C |
| 第10回  | 制作活動（5）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第11回  | 制作活動（6）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第12回  | 制作活動（7）<br>（対面）  | B<br>C |
| 第13回  | 作品発表<br>（対面）   | B      |
| 第14回  | 作品発表<br>（対面）   | B      |

|      |   |   |
|------|---|---|
| 第15回 | 発表会のふりかえり（ディスカッション）<br>本授業のまとめ（論述テスト）<br>（対面） | B |
|------|---|---|

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587047901  | 科目番号 / Course code                                    | 05870479             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 12331_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b3日本語と社会 / Japanese and Society   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 前田 桂子 / Keiko Maeda   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟23 / RoomA-23   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | 前田 kmaeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>大平 ohirat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 前田 教育学部棟6階 624研究室<br>大平 教育学部棟6階 613研究室  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 前田 2301<br>大平 2305  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 前田 火5<br>大平 火5  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | 前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | 身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、人間の環境認知や地名について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め自ら探求するとともに、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | 授業中に課すレポート、小テスト (30%)<br>期末試験 (70%)   |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 授業後の振り返りと、次回の予習に各2時間程度の学習を求めます。   |   |                      |
| キーワード/Keywords   | 現代語、文法、流行語、方言、環境認知、多文化化、地名  |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 教科書は使用しません。   |   |                      |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   |   |   |                      |

|   |  |
|---|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks  | 授業は対面形式で実施します。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 大平 晃久/中学校(社会)・高等学校(地歴・公民)非常勤講師/中高の授業に生かせる内容を講義するとともに、大学入試に対して地理教育分野からどう応えているかということを念頭に講義を行う。/  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回   | オリエンテーション<br>文字について  |
| 第2回   | 語彙について   |
| 第3回   | 訳語と外来語   |
| 第4回   | 標準語と俗語、若者語   |
| 第5回   | 敬語   |
| 第6回   | 方言   |
| 第7回   | 変化する文法   |
| 第8回   | 総括、確認テスト   |
| 第9回   | 言語と世界（オリエンテーション）   |
| 第10回  | 言語と空間参照枠   |
| 第11回  | 地名のアルケオロジー   |
| 第12回  | 地名のソシオロジー  |
| 第13回  | 歌枕・万葉地理：場所のイメージ（1）   |
| 第14回  | コンテンツ・ツーリズム：場所のイメージ（2）   |
| 第15回  | 多言語・多文化化と言語景観  |
| 第16回  | 期末試験   |

|   |   |   |                      |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587040101  | 科目番号 / Course code                                      | 05870401             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12541_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b3数と自然 / Number and Nature  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 永田 聖二 / Nagata Seiji, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 永田 聖二 / Nagata Seiji  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 永田 聖二 / Nagata Seiji  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟22 / RoomA-22   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部  |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | seiji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する @に変更して送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 教育学部 本館 6階 612研究室   |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2310  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 水曜 限  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う)  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 期末試験100%<br>100点のうち60点以上を合格とする。   |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 予習 配布資料の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。(2h)<br>復習 ノート整理をつうじて内容の理解を深めること。(2h)   |   |                      |
| キーワード/Keywords  | スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ   |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫)<br>チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版   |   |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  |   |   |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948   |   |                      |
| 備考/Remarks  | すべて対面で実施する。   |   |                      |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。   |   |                      |

| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | N                        |
|---|--------------------------|
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course |                          |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |                          |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents          |
| 第1回   | 経済学の課題と対象(対面)            |
| 第2回   | 流通過程と重商主義思想(対面)          |
| 第3回   | アダム・スミスと国富(対面)           |
| 第4回   | アダム・スミスと生産過程(対面)         |
| 第5回   | リカードウと労働価値説(対面)          |
| 第6回   | リカードウと賃金論(対面)            |
| 第7回   | リカードウと地代論(対面)            |
| 第8回   | 経済数学の基礎1: 微分法(対面)        |
| 第9回   | 経済数学の基礎2: 最適化問題(対面)      |
| 第10回  | 経済数学の基礎3: 偏微分と全微分(対面)    |
| 第11回  | ミクロ経済学: 消費者行動の理論(対面)     |
| 第12回  | マクロ経済学: 所得水準の決定と乗数効果(対面) |
| 第13回  | 経済数学の基礎4: ベクトルと行列(対面)    |
| 第14回  | 経済数学の基礎5: 連立方程式と逆行列(対面)  |
| 第15回  | 産業連関分析(対面)               |
| 第16回  | 期末試験(対面)                 |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587037702  | 科目番号 / Course code                                       | 05870377             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12341_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b4身のまわりの科学 / Science in Daily Life  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 及川 大地 / Oikawa Daichi, 鎌田 英一郎<br>/ Eiichiro Kamada   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 武藤 浩二 / Cosy MUTO   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 及川 大地 / Oikawa Daichi  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟24 / RoomA-24   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 武藤: cosy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)<br>藤本: n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)<br>及川: daichioi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 武藤: 教育学部 技術美術教室棟 206室<br>藤本: 教育学部 技術美術教室棟 111室<br>及川: 教育学部 本館 323室  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 武藤: 095-819-2361<br>藤本: 095-819-2360<br>及川: 095-819-2375  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 武藤: 8:00~8:45及び昼休み<br>藤本: 8:00~8:45及び昼休み  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 自ら生活や社会に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲<br>しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 講義時に提示課題の評価 (50%)<br>最終レポート (30%)<br>講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 事前学習: 事前配布資料に目を通した上で講義に臨むこと。事前課題がある場合は実施しておくこ<br>と。また関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。内容によっては事業者等に問い合わ<br>せが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。(2h)<br>事後学習: テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。その上で課題に取り<br>組み提出すること。(2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 科学と疑似科学, ロボット, AI, 設計とトレードオフ, エネルギー, 食料品, 放射線, 納得力  |  |                      |

|   |  |
|---|--|
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 講義資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。<br>参考書及び参考資料：<br>・伊勢田哲治ほか（編），科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳，名古屋大学出版会，2013<br>・安斎育郎，人はなぜだまされるのだろうか？，かもがわ出版，2011<br>・黒田光太郎ほか（編），誇り高い技術者になろう [第2版]，名古屋大学出版会，2012<br>・デイヴィッド・ボダニス，電気革命 モールス、ファラデー、チューリング，新潮文庫10514，新潮社，2016<br>・世界自然保護基金ジャパン，エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014<br>・省エネルギーセンター，エネルギー経済統計要覧<br>・経済産業省，エネルギー白書<br>・環境省，環境・循環型社会・生物多様性白書<br>など |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites  | 生活や社会を改善したい、未来のエネルギー社会を考えたい学生  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |
| 備考/Remarks  | この授業は【対面】で実施します。<br>実験を行う授業回があります。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students  |  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 武藤浩二/技術系国家公務員として国の無線通信系の構成・維持・運営、通信電子機材の研究開発・メーカー技術指導/公益財団法人技術系担当課長として、半導体ベンチャー企業に対するインキュベーション支援/電子機器製造業技術系社員に対する講義/高校生等に対するロボット・プログラミング教室の講師<br>藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回   | テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学（オリエンテーションを含む）【対面】<br>担当：武藤浩二  |
| 第2回   | テーマ：サイエンスとフィクションの狭間【対面】<br>・個人課題付与<br>担当：武藤浩二  |
| 第3回   | テーマ：情報科学の将来と私たちの社会生活 1【対面】<br>・講義及びグループ討論<br>担当：武藤浩二   |
| 第4回   | テーマ：情報科学の将来と私たちの社会生活 2【対面】<br>・グループ討論結果プレゼンテーション<br>・個人課題付与<br>担当：武藤浩二   |
| 第5回   | テーマ：設計とトレードオフ 1【対面】<br>・講義及びグループ討論<br>担当：武藤浩二  |
| 第6回   | テーマ：設計とトレードオフ 2【対面】<br>・グループ討論結果プレゼンテーション<br>・個人課題付与<br>担当：武藤浩二  |
| 第7回   | テーマ：エネルギーが途絶したら 1【対面】<br>・講義及びグループ討論<br>担当：武藤浩二  |
| 第8回   | テーマ：エネルギーが途絶したら 2【対面】<br>・グループ討論結果プレゼンテーション<br>・個人課題付与<br>担当：武藤浩二  |

|      |   |
|------|---|
| 第9回  | テーマ：食料品 1【対面】<br>担当：及川大地  |
| 第10回 | テーマ：食料品 2【対面】<br>担当：及川大地  |
| 第11回 | テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 1（放射線の影響と利用）【対面】<br>担当：藤本登                                |
| 第12回 | テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 2（放射線関連の実験）【対面】<br>担当：藤本登                                 |
| 第13回 | テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 1（高レベル放射性廃棄物処理とは）【対面】<br>担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）  |
| 第14回 | テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 2（高レベル放射性廃棄物処分地選定）【対面】<br>担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS） |
| 第15回 | 全体討議：持続可能な社会に必要な人材とは【対面】<br>担当：武藤浩二   |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593002101  | 科目番号 / Course code                                       | 05930021             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b4持続可能な社会づくり / Creating a sustainable society   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高<br>橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高<br>橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟22 / RoomA-22   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 鎌田 : e-kamada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください)<br>高橋 : kosuket nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください)<br>石川 : izumi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください)<br>宮津 : sumikamiyatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変えてください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 鎌田 : 教育学部 美術技術教室 115室<br>高橋 : 教育学部2階 233研究室<br>石川 : 教育学部2階 231研究室<br>宮津 : 教育学部3階 327研究室   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 鎌田 : 095-819-2362<br>高橋 : 095-819-2404<br>石川 : 095-819-2406<br>宮津 : 095-819-2370  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 鎌田 : 月 (10:30 ~ 11:00)<br>高橋 : 木 (10:30 ~ 11:00)<br>石川 : 火 (10:30 ~ 11:00)<br>宮津 : 月 (10:30 ~ 11:00)  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 目まぐるしく変化する「社会」の中で私たちはどのようにその変化に対応し、持続可能な社会をつ<br>くる一員として過ごしていかなければならないのでしょうか。「持続可能な社会」では、自然科学<br>や環境、弱者・マイノリティ、乳幼児、持続可能な社会づくりをテーマに、身のまわりからグロー<br>バルな範囲までの問題・課題を教育現場(学校や地域社会)の視点から解決し学んでゆきます。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 持続可能な社会に向けて、身のまわりの事例から問題点を発見し、解決に向けた知識・技能を身に<br>付けることができるようになる。<br>問題解決に向けた行動のありようを多様な視点から分析し、社会や環境、弱者・マイノリティ、乳<br>幼児、持続可能性の観点から考えを持ち表現できるようになる。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲<br>しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 講義時に提示課題の評価・レポート(80%)<br>講義中のディスカッション等の貢献度(20%)   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | <p>予習 (2h)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予告やシラバスから関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。</li> <li>・課題が出る回もあります。講義やLACSの指示に注意してください。</li> </ul> <p>復習 (2h)</p> <p>テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。</p>  |
| キーワード/Keywords   | 持続可能な社会, 環境問題, 食料生産, 行動分析学, 多様性, 共生社会, SDG s   |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。   |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   |  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br/>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br/>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> |
| 備考/Remarks   | <p>授業は対面で実施します。</p> <p>状況によって変更する場合があります。その場合はLACS等で連絡します。</p>   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   |  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y  |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | <p>鎌田 英一郎/教育現場における教員経験/教員経験を活かし、学校現場での授業内容と大学での講義内容の関連性、授業づくり、教材作りへの活かし方等を指導する。</p> <p>高橋甲介/自治体や社会福祉法人の児童発達支援事業の心理指導員として発達につまづきや遅れのある子どもの指導やその保護者に対する相談を行った。</p>   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | 環境問題のトレードオフを考える(世界食料デーから考える食と人間)<br>担当: 鎌田英一郎  |
| 第2回  | 環境問題のトレードオフを考える(バーチャルウォーターから考える食と水)<br>担当: 鎌田英一郎   |
| 第3回  | 環境問題のトレードオフを考える(世界と日本の食料事情から考える食と生産)<br>担当: 鎌田英一郎  |
| 第4回  | 環境問題のトレードオフを考える(持続可能な社会に向けて)<br>担当: 鎌田英一郎  |
| 第5回  | 環境問題と心理学(環境問題と個人の行動)<br>担当: 高橋甲介   |
| 第6回  | 環境問題と心理学(行動分析学の諸法則)<br>担当: 高橋甲介  |
| 第7回  | 環境問題と心理学(行動分析学を用いた問題解決のプロセス)<br>担当: 高橋甲介   |
| 第8回  | 環境問題と心理学(行動分析学を用いた環境問題の改善)<br>担当: 高橋甲介   |
| 第9回  | 弱者・マイノリティと持続可能な社会 LGBTと私たちの社会<br>担当: 石川衣紀  |
| 第10回   | 弱者・マイノリティと持続可能な社会 外国人児童と私たちの社会<br>担当: 石川衣紀   |
| 第11回   | 弱者・マイノリティと持続可能な社会 夜間中学校と私たちの社会<br>担当: 石川衣紀   |
| 第12回   | 弱者・マイノリティと持続可能な社会 障害者と私たちの社会<br>担当: 石川衣紀   |
| 第13回   | 乳幼児教育・保育に内包されるESD: 発達初期の環境を考える<br>担当: 宮津寿美香  |
| 第14回   | 乳幼児教育・保育に内包されるESD: 乳幼児期における自我の芽生えと多様性の理解<br>担当: 宮津寿美香  |
| 第15回   | SDGsの視点から考察する<br>担当: 鎌田英一郎   |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587012101  | 科目番号 / Course code                                       | 05870121             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12751_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b5経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 小野 哲 / Ono Tetu   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 小野 哲 / Ono Tetu   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 小野 哲 / Ono Tetu   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟24 / RoomA-24   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | onotetsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階532研究室   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-820-6360  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 片淵キャンパス常勤のためE-mailにて受け付けます。<br>なおその際はLACSを使用せず、直接上記アドレスへメールを送信してください。   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます(カッコ内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点との対応関係を示しています」)。<br>(1) 財務3表の基本的な内容を把握できる(2、5、8、10、B)。<br>(2) ベーシックな経営指標など会計を用いた技法を理解できる(2、5、8、10、B)。<br>(3) 実際の企業データを使って、企業のベーシックな財務諸表分析ができる(2、4、5、7、8、10、12、B、D)。<br>なお「教養モジュール目標および授業編成の視点」については、『教養モジュール科目案内』を参照してください。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 下記の授業内容にあるように授業はオンラインデマンドで実施し、小テスト40点(8点×5回)+課題レポート60点=合計100点のうち60点以上を合格とします。小テストやレポートのファイルの送信先は、既述の教員のメールアドレスですが、その際LACSは使用しないでください。   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | <予習> テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。<br><復習> 授業内容および小テストを含む配付資料をもとに復習すること(2h)。   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 財務3表、経営指標、財務諸表分析(経営分析)  |  |                      |

|  |  |        |
|--|--|--------|
| 教科書・教材・参考書/Materials   | <b>【教科書】</b><br>林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房,の「はじめに・プロローグ、第1章、第2章、第3章」を使用。ただし同書が絶版になったため、受講生は第1回目の授業開始前までに教員のメールアドレスへ、件名に所属学部・番号・氏名を明記し、「b5 経営情報と会計情報の教科書」と書いたメールを送信し、教員からの返信メールに添付された該当箇所のファイルを手入するようにしてください。その際LACSは利用しないこと。  |        |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   | 特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。   |        |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp  |        |
| 備考/Remarks   | 確認の意味で繰り返しますが、この授業はオンラインデマンドで実施する授業です。<br>なお財務3表は、有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム（EDINET： <a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a> ）で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者/発行者/ファンド」の欄に会社名を入力し、「検索」をクリックします。<br>また任意の会社のHPを選択し、「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックしても参照することができます。 |        |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを利用してあらかじめ現実の財務3表に触れておくことが望ましいでしょう。<br>なお小テストや課題レポートには提出期限がありますから、その期限を厳守するようにしてください。  |        |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience                                       | N  |        |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course |  |        |
| 授業計画詳細/Course Schedule   |  |        |
| 回(日時)/Time(date and time)  | 授業内容/Contents  | 授業手法/  |
| 1回(4/10)   | 授業ガイダンス(オンラインデマンド)   | F      |
| 2回(4/10)   | 会計の基本ー売上高、費用、利益、現金の流れの学習ー(オンラインデマンド)   | F      |
| 3-4回(4/17)   | 財務3表ー損益計算書入門ー(オンラインデマンド)<br>第1回小テスト(オンラインデマンド)   | A<br>C |
| 5-6回(4/24)   | 財務3表ー貸借対照表入門ー(オンラインデマンド)<br>第2回小テスト(オンラインデマンド)   | A<br>C |
| 7-8回(5/8)  | 財務3表ー貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門ー(オンラインデマンド)<br>第3回小テスト(オンラインデマンド)  | A<br>C |
| 9-10回(5/15)  | 会計不正ー利益操作についてー(オンラインデマンド)<br>経営指標についての学習ー総資産利益率、自己資本利益率ー(オンラインデマンド)  | F      |
| 11-12回(5/22)   | 経営指標についての学習ー自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率ー(オンラインデマンド)<br>第4回小テスト(オンラインデマンド)   | A<br>C |
| 13-14回(5/29)   | ヤマダ電機の分析例、課題レポートの説明(オンラインデマンド)   | F      |
| 15回(6/5)   | 第5回小テスト(オンラインデマンド)<br>課題レポートの提出  | C<br>D |

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 火 / Tue 4, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230593002301  | 科目番号 / Course code                                    | 05930023             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   |   |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b5ゲーム理論入門 / Introduction to Game Theory   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori, 小野 哲 / Ono Tetu   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟42 / RoomA-42   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address  | yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室 / Office   | 経済学部本館5階 510号室  |   |                      |
| 担当教員TEL / Tel  |   |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours   | 木曜日 14:00 ~ 15:00   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview  | 経済学のみならず、経営学、政治学、社会学、法学といった社会科学全般や心理学、哲学、倫理学といった人文科学、生物学、物理学、計算機科学、工学といった自然科学でも研究され応用されているゲーム理論の基本的な考え方を学ぶ。   |   |                      |
| 授業到達目標 / Course goals  | 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけられる。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation   | 問題演習(60%), 定期試験(40%)で評価する。  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容 / Preparation & Review  | 【予習】テキスト・参考書の関連箇所を読み、分からない箇所を明確にしておくこと。(4h)<br>【復習】テキスト・参考書と講義資料・ノートを再読し、理解を確実にするよう努め、講義中に扱う演習問題について復習すること。(4h)   |   |                      |
| キーワード / Keywords   | 非協力ゲーム理論, 完備情報のゲーム, 戦略形ゲーム, 展開形ゲーム。   |   |                      |
| 教科書・教材・参考書 / Materials   | 【教科書】<br>渡辺 隆裕 『ゼミナール ゲーム理論入門』日本経済新聞出版社, 2008年を予定しているが,<br>渡辺 隆裕 『一歩ずつ学ぶ ゲーム理論 - 数理で導く戦略的意思決定 - 』裳華房, 2021年に変更する可能性もある。授業開始までに通知する。<br><br>【参考書】<br>・梶井 厚志, 松井 彰彦 『ミクロ経済学 戦略的アプローチ』日本評論社, 2000年。<br>・岡田 章 『ゲーム理論・入門 新版 人間社会の理解のために』有斐閣, 2014年。<br>・岡田 章 『ゲーム理論 新版』有斐閣, 2011年。<br>・岡田 章, 他 『ゲーム理論ワークブック』有斐閣, 2015年。<br>・船木 由喜彦 『演習ゲーム理論』新世社, 2004年。  |   |                      |
| 受講要件 (履修条件) / Prerequisites  |   |   |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp |
|--|--|
| 備考/Remarks   | 原則、対面で行うことを予定しているが、状況によって変更することもある。その場合はeメールまたはLACSで通知する。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 試験で良い成績を取めたいのであれば、<br>・岡田章（2011）『ゲーム理論 新版』 有斐閣<br>・岡田章、他（2015）『ゲーム理論ワークブック』 有斐閣<br>・船木由喜彦（2004）『演習ゲーム理論』 新世社<br>といった上級のテキストでの学習及び問題集での演習を勧める。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course |  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | ガイダンス、導入(対面)。  |
| 第2回  | 戦略形ゲームの基礎#1(対面)。   |
| 第3回  | 戦略形ゲームの基礎#2(対面)。   |
| 第4回  | 完全情報の展開形ゲーム#1(対面)。   |
| 第5回  | 完全情報の展開形ゲーム#2(対面)。   |
| 第6回  | 問題演習#1(対面)。  |
| 第7回  | 戦略形ゲームの応用#1(対面)。   |
| 第8回  | 戦略形ゲームの応用#2(対面)。   |
| 第9回  | 戦略形ゲームの応用#3(対面)。   |
| 第10回   | 戦略形ゲームの応用#4(対面)。   |
| 第11回   | 問題演習#2(対面)。  |
| 第12回   | 一般の展開形ゲーム#1(対面)。   |
| 第13回   | 一般の展開形ゲーム#2(対面)。   |
| 第14回   | 一般の展開形ゲーム#3(対面)。   |
| 第15回   | 問題演習#3(対面)。  |
| 第16回   | 定期試験(対面)。  |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593002501  | 科目番号 / Course code                                       | 05930025             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b6企業経営の仕組み / Business Management System   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 辺見 英貴 / hemmi hidetaka, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 辺見 英貴 / hemmi hidetaka  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 辺見 英貴 / hemmi hidetaka  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟31 / RoomA-31   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | hidetaka.hemmi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 経済学部本館6階608研究室  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-820-6341  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 講義後、もしくは事前にメールで連絡いただければ、時間調整します。  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | <p>企業経営の仕組みでは、企業の形態や機能、企業を取りまく環境との関わりについて学習する。具体的には、まず企業の目的(アウトプット)を明らかにし、資金調達(インプット)の構造を講義する(第2・3回)。次に、企業が目論む長期的な戦略や、環境からの影響を受けて変化する組織構造の種類を講義する(第4・5回)。一方で、ハードとしての組織構造のみならず、ソフトの視点から組織を考える組織文化について講義する(第6回)。</p> <p>次に、企業の詳細な特徴として、日本の経営の構造と、中小企業やベンチャー企業、ファミリービジネスの構造や実態について講義していく(第7・8・9回)。</p> <p>加えて、職場における従業員のマネジメントに着目し、経営管理論の潮流を概観した後に、企業組織に所属する従業員のモチベーションやグループ・ダイナミクス、コミュニケーションについて論じていく(第10~13回)。</p> <p>最後に、企業が社会にどうあるべきかという社会的位置づけについて講義する(第14回)。全体の振り返りおよび定期試験のアナウンスは第15回に行う。</p> <p>なお、授業形態はオンライン形式を予定している。</p>   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 1. 企業の形態や機能について説明ができる。( )<br>2. 企業を取りまく環境との関わりについて理解する。( )  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 予習復習課題(30点) + 期末テスト(70点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 予習・復習課題に取り組むこと。(2h)<br>復習はレジュメおよび授業で提示された参考書をもとに理解の確認をすること。(2h)<br>また、時事的な問題に日頃から関心を持つことで、企業に対するさらなる理解が深まります。   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 企業の目的と機能、企業の組織構造、企業組織の種類、コーポレート・ガバナンス、組織行動  |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 参考書<br>三戸浩・池内秀己・勝部伸夫 (2018) 『企業論：第4版』有斐閣アルマ。<br>吉村典久・田中一弘・伊藤博之・稲葉祐之 (2017). 『企業統治』中央経済社。<br>その他にも、関連する書籍や文献を適宜紹介します。   |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   | 企業組織内外のマネジメントについて関心を持つ学生が望ましい。   |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。<br>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 授業はオンライン形式で実施します。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 企業経営の仕組みを学ぶことは、企業や社会に関する枠組みや構造の理解につながります。また、所属している組織やチームで応用することを念頭に置きながら受講することを推奨します。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | N  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course |  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | 企業とは何か? 企業の定義と現代の役割<br>本授業では授業の進め方の説明および参考書籍の紹介をする。次に「企業経営の仕組み」では何を学習するのか、企業とは何かを大きな問いとして講義する。本授業の目的は、企業や社会の構造の前提を理解できること、これから本授業で学ぶ全体像を把握することである。   |
| 第2回  | 企業の経営と統治 企業による価値の創造<br>企業は消費者に対して何らかの価値を提供することが求められる。本授業では、企業は何を目的に活動するのかという根源的な問いについて講義する。具体的には、企業が優位性をどのように確保して付加価値を生み出すのか、企業の経営・統治とは何かについて学習する。   |
| 第3回  | 企業の経営と統治 資金調達<br>企業は資金を集めてはじめて価値のあるものを生み出すことができる。本授業では、企業はどのように資金調達をするのかについて講義する。具体的には、資金の役割や流れ、金融市場とプレイヤーの役割、株式会社における株主の権利、企業の資金調達方法と、新しい資金調達方法について講義する。  |
| 第4回  | 財・サービスを生産する企業 大企業の長期戦略<br>企業が生み出す商品のなかにはロングセラーの商品がある。本授業では、企業はどのように長期的な商品を生み出すのかについて講義する。具体的には、どのように企業は消費者に商品を買ってもらうのかという戦略論的考え方や、消費者に買ってもらおうための広告、さらには国際化・多国籍化について学習する。   |
| 第5回  | 企業のデザイン 企業組織の構造<br>企業は環境からの影響を受けてあらゆる構造に変化する。本授業では、大企業の組織的特徴を述べたのちに、環境適応のために企業はどのような組織形態を選択しているのかを学ぶ。具体的には、官僚制の基本的な構造と、官僚制の逆機能、ライン組織、事業部制組織、マトリックス組織のような組織構造の種類について学習する。   |
| 第6回  | 企業のデザイン 企業組織の文化<br>企業は組織構造のようなハードの側面だけでなく、ソフトの側面からも理解できる。本授業では、第5回の組織構造とは対照的にソフトな側面として組織文化に着目する。企業組織をハードとソフトの両面からみることで組織の仕組みについて包括的に理解できる。   |
| 第7回  | 日本的経営の特徴<br>本授業では日本企業の独自性について講義する。特に、日本的経営の変遷を振り返り、日本の企業様式の特徴について論じていく。さらに、日本には系列と呼ばれる企業同士の結合関係について学ぶ。最後に日本的経営の課題について学習する。   |
| 第8回  | 企業の形態 中小企業・ベンチャー企業<br>日本の中小企業数は全企業の99%以上の割合を占める。本授業では、大企業と比べて、中小企業・ベンチャー企業にはどのような違いがあるのかについて講義する。  |
| 第9回  | 企業の形態 ファミリービジネスの特色<br>日本には他国と比較して長寿企業で家族経営の企業が数多く存在する。そこで、本授業ではファミリービジネスに着目し、その特徴や強み・弱みについて講義していく。   |

|      |   |
|------|---|
| 第10回 | <p>従業員のマネジメント 管理論の潮流</p> <p>経営管理論は100年以上の歴史があり、大きな流れを掴むことで企業組織のあり方の理解につながる。本授業では、企業組織の維持・存続のためにどのような管理論が展開されてきたのかを講義する。具体的には、テイラーシステムから始まり、組織論やコンティンジェンシー理論など管理論の主要理論について学習する。</p>                |
| 第11回 | <p>従業員のマネジメント モチベーション</p> <p>企業組織では顧客のような組織外部に対して戦略やマーケティングの実践だけでなく、組織内部にいる従業員のマネジメントをする必要がある。例えば、従業員が成長したいと思っている場合、成長を実感できる組織でなければ離職する可能性は高まる。そこで、本授業では従業員のモチベーションに着目し、モチベーションの種類や構造を理解していく。</p> |
| 第12回 | <p>従業員のマネジメント グループ・ダイナミクス</p> <p>チームや組織は目的に向かって様々な意思決定が必要である。とりわけ、集団の意思決定は個人の意思決定にはない現象があり、マネジメントが困難である。本授業では、経営学で扱われる代表的なグループ・ダイナミクスに関する知見を提供する。</p>   |
| 第13回 | <p>従業員のマネジメント 職場のコミュニケーション</p> <p>従業員のコミュニケーションは、新しいアイデアの生成や従業員の満足度に影響するため、重要な要素となる。そこで、信頼研究や、従業員と上司のコミュニケーション、対話の考え方についてレクチャする。</p>  |
| 第14回 | <p>企業の社会的位置づけ 企業の社会的責任と企業倫理</p> <p>企業は利益の追求だけでなく、社会に対しての責任を負っている。本授業では、企業と社会との関係性について講義し、企業が社会に対してどうあるべきかについて議論する。</p>  |
| 第15回 | <p>ラップアップ</p> <p>本授業では、企業経営の仕組みで学習した内容について振り返る。期末テストについての説明も行う。</p>   |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587010501  | 科目番号 / Course code                                       | 05870105             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12711_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b6国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 南森 茂太 / Minamimori Shigeta  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 南森 茂太 / Minamimori Shigeta  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 南森 茂太 / Minamimori Shigeta  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟23 / RoomA-23   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)<br>ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるためLACSのメッセージ機能をご利用く<br>ださい。  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 経済学部本館625号室   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)<br>ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるためLACSのメッセージ機能をご利用く<br>ださい。  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 火曜 : 12 : 00 ~ 13 : 00  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 16世紀初頭から19世紀後半半ばまでを対象期間として、各時代の経済人たちが日本を国際社会の中<br>でどのように位置づけようとしていたのか解説をおこなう。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | (1) 各時代の経済人の考え方について説明できる。<br>(2) 過去の人びとが国際社会についてどのように考えていたのか、そのなかで日本をどのように位<br>置づけていたのかを説明できる。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲<br>しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 平常課題(5回 : 50%)<br>長崎歴史文化博物館の常設展を見学し、感想をまとめる。<br>長崎大学附属図書館経済学部分館の長崎学資料室を見学し、感想をまとめる。<br>長崎歴史文化博物館、および長崎大学附属図書館経済学部分館の長崎学資料展示室の双方を見学し<br>、双方の展示の共通点を明らかにし、なぜこのような展示になったのかを論じる。<br>参考文献から1冊を選び、その内容を要約する。<br>指定された3つの史跡に自ら趣き、説明板や石碑などを写真を撮影する。<br>期末レポート(1回 : 50%)<br><br>なお、すべての課題を提出しなければ単位を修得することはできません。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 事前学習 : LACSにアップしたレジュメに目を通して講義にのぞむこと。(2h)<br>事後学習 : レジュメや講義内容をまとめ、理解を確実にすること。(2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 国際社会、国家、「鎖国」  |  |                      |

|  |   |
|--|---|
| <p>教科書・教材・参考書/Materials</p>  | <p>教科書：なし<br/> 教材<br/> LACSにアップします。<br/> 参考文献<br/> 赤瀬浩『「株式会社」長崎出島』講談社,2005年。<br/> 安藤雄一郎『江戸のエリート経済官僚 大岡越前の構造改革』NHK出版,2007年。<br/> 井原西鶴作；東明雅校訂『日本永代蔵』岩波書店,1956年。<br/> 宇田川久武『真説 鉄砲伝来』平凡社,2006年。<br/> 小川末『和算:江戸の数学文化』中央公論新社,2021年。<br/> 柏原宏紀『明治の技術官僚：近代日本をつくった長州五傑』中央公論新社,2018。<br/> 嘉数次人『天文学者たちの江戸時代：暦・宇宙観の大転換』筑摩書房,2016年。<br/> 北原進『江戸の札差』吉川弘文館,1985年。<br/> 木村直樹『通説 たちの幕末維新』吉川弘文館,2012年。<br/> 木村直樹『長崎奉行の歴史 苦悩する官僚エリート』角川出版,2016年。<br/> 鬼頭宏『図説人口で見る日本史：縄文時代から近未来社会まで』PHP研究所,2007年。<br/> 黒田基樹『百姓から見た戦国大名』筑摩書房,2006年。<br/> 小泉信三『福澤諭吉』岩波書店,1966。<br/> 桜井英治,中西聡編『流通経済史』山川出版社,2002年。<br/> 佐々木銀弥『中世商品流通史の研究』法政大学出版局,1972年。<br/> 鈴木公雄『銭の考古学』吉川弘文館,2002年。<br/> 杉山伸也『明治維新とイギリス商人：トマス・グラバーの生涯』岩波書店,1993。<br/> 鈴木浩三『江戸の都市力:地形と経済で読みとく』筑摩書房,2016年。<br/> 高木久史『撰銭とビター文の戦国史：中世から近世へ』平凡社,2018年。<br/> 高木久史『通貨の日本史 - 無文銀銭、富本銭から電子マネーまで』中央公論新社,2016年。<br/> 高橋章則『江戸の転勤族：代官所手代の世界』平凡社,1997年。<br/> 田代和生『書き替えられた国書 徳川・朝鮮外交の舞台裏』中央公論社,1983年。<br/> 田代和生『倭館 鎖国時代の日本人町』文藝春秋,2002年。<br/> 中田易直『三井高利』吉川弘文館,1959年。<br/> 西沢淳男『代官の日常生活：江戸の中間管理』講談社,2004年。<br/> 速水融『歴史人口学で見た日本』文藝春秋,2001年。<br/> 速水融,鬼頭宏,友部謙一編『歴史人口学のフロンティア』東洋経済新報社,2001年。<br/> 原田伴彦『長崎 歴史の旅への招待』中央公論社,1964年。<br/> 尾藤正英『江戸時代とはなにか：日本史上の近世と近代』岩波書店,2006年。<br/> 福澤諭吉著,齋藤孝訳『学問のすすめ：現代語訳』筑摩書房,2009。<br/> 福澤諭吉著,伊藤正雄訳『現代語訳学問のすすめ』岩波書店,2013。<br/> 福澤諭吉『学問のすすめ。改版』岩波書店,1978。<br/> 藤木久志『戦国の村を行く』朝日新聞社,1997年。<br/> 藤木久志『飢餓と戦争の戦国を行く』朝日新聞社,2001年。<br/> ブライアン・パークガフニ著,山内素子訳『霧笛の長崎居留地：ウォーカー兄弟と海運日本の黎明』長崎新聞社,2006。<br/> ブライアン・パークガフニ『T・B・グラバー』長崎文献社,2020。<br/> 増崎英明・長崎大学地域文化研究会『今と昔の長崎に遊ぶ』九州大学出版会,2021年。<br/> 水本邦彦『村：百姓たちの近世』岩波書店,2015年。<br/> 南森茂太『「民」を重んじた思想家 神田孝平 異色の官僚が構想した、もう一つの明治日本』九州大学出版会,2022年。<br/> 源了圓『徳川思想小史』中央公論社,1973年。<br/> 宮田純『近世日本の開発経済論と国際化構想：本多利明の経済政策思想』御茶の水書房,2016年。<br/> 宮本又次『鴻池善右衛門』吉川弘文館,1958年。<br/> 村井淳志『勘定奉行萩原重秀の生涯 新井白石が嫉妬した天才経済官僚』集英社,2007年。<br/> 村上直『江戸幕府の代官群像』同成社,1997年。<br/> 若尾政希『百姓一揆』岩波書店,2018年。<br/> 渡辺尚志『百姓の力：江戸時代から見える日本』柏書房,2008年。</p> |
| <p>受講要件（履修条件）/Prerequisites</p>  | <p>歴史が大好きな人大歓迎です。</p>   |
| <p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>                 | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br/> アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br/> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br/> （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>   |
| <p>備考/Remarks</p>  | <p>授業の実施方法（対面）</p>  |
| <p>学生へのメッセージ/Message for students</p>  | <p>よりよき学びの環境作りを受講生一人ひとりが作り出すようにしてください。</p>  |
| <p>実務経験のある教員による授業科目であるか<br/> (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p> | <p>N</p>  |

| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course |                                  |
|---|----------------------------------|
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |                                  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents                  |
| 第1回   | 中世と近世：中世社会と近世社会の特色               |
| 第2回   | キリスト教の伝来と南蛮貿易：16世紀後半の国際社会に対する認識  |
| 第3回   | 江戸幕府の外交政策：江戸時代初期の幕府首脳の国際社会に対する認識 |
| 第4回   | 江戸時代の海外貿易：江戸時代の海外貿易              |
| 第5回   | 新井白石：新井白石の国際社会に対する認識             |
| 第6回   | 長崎における通訳たち：阿蘭陀通詞・唐通事の国際社会に対する認識  |
| 第7回   | 18世紀末から19世紀初頭の国際情勢：日本を取り巻く環境の変化  |
| 第8回   | 本多利明：本多利明の経済思想、国家観               |
| 第9回   | 開国と開港：開国と開港が日本に及ぼした影響            |
| 第10回  | 居留地：居留地が日本に及ぼした影響                |
| 第11回  | 幕末・明治初期の新知识・新技術の導入：お雇い外国人の役割     |
| 第12回  | 幕末・明治初期の新知识・新技術の導入：留学の役割         |
| 第13回  | 19世紀後半の知識人：福澤諭吉の国際社会に対する認識       |
| 第14回  | 19世紀後半の知識人：神田孝平の国際社会に対する認識       |
| 第15回  | 全体のまとめ                           |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/09/27   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593005302  | 科目番号 / Course code                                       | 05930053             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b7Toward a Nuclear Weapon-Free World / Toward a Nuclear Weapon-Free World   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 中村 桂子 / Nakamura Keiko  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 中村 桂子 / Nakamura Keiko  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 中村 桂子 / Nakamura Keiko  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟32 / RoomA-32   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2865  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | by appointment  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 13,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation  | 1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%)<br>2) Final report (40%)  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容 / Preparation & Review   | Before class, students are expected to read related news articles and materials suggested by the lecturer. (2h)<br>After class, students are expected to read over the returned reaction sheets and do further research on their own on the parts of the lecture that they did not fully  |  |                      |
| キーワード / Keywords  | nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書 / Materials  | Not required (printed materials may be distributed in class)  |  |                      |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites  |   |  |                      |

|   |   |
|---|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks  | This class will be conducted face-to-face.  |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y   |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |   |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents   |
| 第1回   | Introduction to the Course  |
| 第2回   | Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age   |
| 第3回   | Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world   |
| 第4回   | Nuclear testing I   |
| 第5回   | Nuclear testing II  |
| 第6回   | The Cold War Era and Nuclear Arms Race  |
| 第7回   | Beyond the Cold War: Risk of Proliferation  |
| 第8回   | Nuclear Weapons from Regional Perspectives  |
| 第9回   | Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation  |
| 第10回  | Japanese Nuclear Policy   |
| 第11回  | Nuclear Weapon-Free Zones   |
| 第12回  | States that Chose a Non-Nuclear Policy  |
| 第13回  | Role of Civil Society I   |
| 第14回  | Role of Civil Society II  |
| 第15回  | Conclusion  |

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230593005501  | 科目番号 / Course code                                      | 05930055             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   |   |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b7Introduction to Japanese Culture and History / Introduction to Japanese Culture and History   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 山下 龍 / Yamashita Noboru, 中村 桂子 / Nakamura Keiko   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 山下 龍 / Yamashita Noboru   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 山下 龍 / Yamashita Noboru   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟31 / RoomA-31   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 授業中の説明は英語のみとなりますので、シラバスも英語のみとなります。自分の英語能力が十分かどうか不安な方は、山下先生に直接メールでご相談ください。<br>The explanation in class will be given in English only, therefore the syllabus will also only be given in English. If you are not sure if your English language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by e-mail.  |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | noboruy nagasaki-u.ac.jp( @)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office   | Center for Language Research B-112<br>genko-kyo iku-kenkyu-senta<br>言語教育研究センター  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-819-2080  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | Before and after the lecture<br>On appointment  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | This lecture will give an introduction to the most important historical and cultural developments in Japanese history until the end of the Meiji-period.  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | This lecture aims at lecturing Japanese students in English on Japanese culture and history. Students will become able to explain the culture and history of their home country in English when they travel abroad, and because of a better or renewed understanding of their cultural heritage they will also obtain the intellectual knowledge necessary to study and discuss foreign cultures.<br>This class is also open to foreign exchange students who will have a change to study the culture and history of their host country in another language than Japanese.                          |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | Homework assignments 20%, presentations (if possible, depending on the number of students) 10%, final test and/or paper 70% (80% if there are too many students to do   |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | Homework assignments will be given in the lecture to review the content of that lecture (2h), as well as an assignment to prepare for the next lecture (2h).<br>Both assignments will have to be handed in the next lecture and have to be written in   |   |                      |

| キーワード/Keywords   | Japanese history, Cultural anthropology, English, History, Culture  |
|--|---|
| 教科書・教材・参考書/Materials   | Handouts will be given when necessary.  |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   | Full attendance is required   |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948   |
| 備考/Remarks   | This class will be conducted face-to-face.<br>Depending on the number of participating students, it may not be possible to do groupwork or to do presentations. Consequently, the content of the lecture schedule is subject to change, but all above named subjects will be discussed. |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | Study the old, understand the new! 温故知新   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | N   |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course |   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |   |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents   |
| 1 (1)  | Introduction<br>Prehistoric and Ancient Japan<br>Paleolithic period<br>J mon period<br>Yayoi period   |
| 2 (1)  | Prehistoric and Ancient Japan<br>Yayoi period<br>Kofun period (c. 250–538)  |
| 3 (2)  | Classical Japan<br>Asuka period (538–710)<br>Nara period (710–794)  |
| 4 (2)  | Classical Japan<br>Nara period (710–794)<br>Heian period (794–1185)   |
| 5 (3)  | Classical Japan<br>Heian period (794–1185)<br>Feudal Japan<br>Kamakura period (1185–1333)   |
| 6 (3)  | Feudal Japan<br>Kamakura period (1185–1333)<br>Muromachi period (1333–1568)   |
| 7 (4)  | Presentations by students   |
| 8 (4)  | Feudal Japan<br>Azuchi–Momoyama period (1568–1600) Oda Nobunaga   |
| 9 (5)  | Feudal Japan<br>Azuchi–Momoyama period (1568–1600) Toyotomi Hideyoshi   |
| 10 (5)   | Feudal Japan<br>Tokugawa Ieyasu and the Beginning of the Edo period (1600–1868)<br>The Feudal system of the Edo period  |
| 11 (6)   | Early modern Japan<br>Edo period (1600–1868) Foreign Exchange   |
| 12 (6)   | Presentations by students   |
| 13 (7)   | Presentations by students   |
| 14 (7)   | Early modern Japan<br>Edo period (1600–1868) Religion, Culture<br>The Collapse of the Tokugawa Shogunate  |
| 15 (8)   | Modern Japan<br>Meiji period (1868–1912)<br>Taish period (1912–1926)  |

|   |  |   |                      |
|---|--|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11  |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective  | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593005501   | 科目番号 / Course code                                      | 05930055             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b7Introduction to Japanese Culture and History / Introduction to Japanese Culture and History  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 山下 龍 / Yamashita Noboru, 中村 桂子 / Nakamura Keiko  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 山下 龍 / Yamashita Noboru  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 山下 龍 / Yamashita Noboru  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール  |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4  | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟31 / RoomA-31  |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | <p>医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部</p> <p>授業中の説明は英語のみとなりますので、シラバスも英語のみとなります。自分の英語能力が十分かどうか不安な方は、山下先生に直接メールでご相談ください。<br/>The explanation in class will be given in English only, therefore the syllabus will also only be given in English. If you are not sure if your English language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by e-mail.</p>  |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | noboruy nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)   |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 言語教育研究センター B-112   |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2080   |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | Before and after the lecture<br>On appointment   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | This lecture will give an introduction to the most important historical and cultural developments in Japanese history until the end of the Meiji-period.   |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | <p>This lecture aims at lecturing Japanese students in English on Japanese culture and history. Students will become able to explain the culture and history of their home country in English when they travel abroad, and because of a better or renewed understanding of their cultural heritage they will also obtain the intellectual knowledge necessary to study and discuss foreign cultures.</p> <p>This class is also open to foreign exchange students who will have a change to study the culture and history of their host country in another language than Japanese.</p>  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society   |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking   | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p> |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation  | homework assignments 20%, presentations (if possible, depending on the number of students) 10%, final test and/or paper 70% (80% if there are too many students to do  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照   |   |                      |
| 事前・事後学修の内容 / Preparation & Review   | <p>予習 : LACSに掲載されている次回講義資料に目を通し、講義に臨むこと(2h)。<br/>復習 : 講義内容及び講義資料を基に復習し、課題に取り組むこと(2h)。</p>  |   |                      |
| キーワード / Keywords  | Japanese history, Cultural anthropology, English, History, Culture   |   |                      |

| 教科書・教材・参考書/Materials   | Handouts will be given when necessary   |
|--|---|
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites   | Full attendance is required   |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |
| 備考/Remarks   | This class will be conducted face-to-face.<br>Depending on the number of participating students, it may not be possible to do groupwork or to do presentations. Consequently, the content of the lecture schedule is subject to change, but all above named subjects will be discussed. |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | Study the old, understand the new!  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N   |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course |   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |   |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents   |
| 第1回  | Introduction<br>Prehistoric and Ancient Japan<br>Paleolithic period<br>J mon period<br>1.3 Yayoi period   |
| 第2回  | Prehistoric and Ancient Japan<br>Yayoi period<br>Kofun period (c. 250-538)  |
| 第3回  | Classical Japan<br>Asuka period (538-710)<br>Nara period (710-794)  |
| 第4回  | Classical Japan<br>Nara period (710-794)<br>Heian period (794-1185)   |
| 第5回  | Classical Japan<br>Heian period (794-1185)<br>Feudal Japan<br>Kamakura period (1185-1333)   |
| 第6回  | Feudal Japan<br>Kamakura period (1185-1333)<br>Muromachi period (1333-1568)   |
| 第7回  | Presentations by students   |
| 第8回  | Feudal Japan<br>Azuchi-Momoyama period (1568-1600) Oda Nobunaga   |
| 第9回  | Feudal Japan<br>Azuchi-Momoyama period (1568-1600) Toyotomi Hideyoshi   |
| 第10回   | Feudal Japan<br>Tokugawa Ieyasu and the Beginning of the Edo period (1600-1868)<br>The Feudal system of the Edo period  |
| 第11回   | Early modern Japan<br>Edo period (1600-1868) Foreign Exchange   |
| 第12回   | Early modern Japan<br>Edo period (1600-1868) Religion, Culture<br>The Collapse of the Tokugawa Shogunate  |
| 第13回   | Presentations by students   |
| 第14回   | Presentations by students   |
| 第15回   | Modern Japan<br>Meiji period (1868-1912)<br>Taish period (1912-1926)  |

|   |   |   |                      |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593002701  | 科目番号 / Course code                                    | 05930027             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b8「視覚の科学」を学ぶ / Science of Vision  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 大石 明生, 北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 築城 英子 / Tuiki Eiko, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 前川 有紀 / Maekawa Yuki, 植木 亮太郎 / ueki ryotaro, 山田 香菜子, 井上 大輔, 熊井 良彦   |   |                      |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 大石 明生   |   |                      |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 大石 明生, 北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 築城 英子 / Tuiki Eiko, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 前川 有紀 / Maekawa Yuki, 植木 亮太郎 / ueki ryotaro, 山田 香菜子, 井上 大輔  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟32 / RoomA-32   |   |                      |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class)  | 医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部  |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | akio.oishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-7345  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 水曜日 17:00~19:00   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | カンブリア紀に眼を持つ生物が爆発的に増え、多様性を持ってきた。本授業では生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能をみていく。また視覚を脅かす病気やケガ、そしてそのために生じる障がいについて概説する。さらに障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えてもらう。また標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践する。さらにアイバンク、盲学校についても学ぶ。   |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、その中で視覚は外界からの刺激の80%以上を伝える器官として最も重要である。視覚器の発生・進歩を知り、それがどのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合にどのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。そして最終的に、視覚を司る眼の構造の概略を説明できる、代表的な眼の病気について理解している、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できる、といったことを目標とする。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation  | 出席(40%) レポート(40%) 授業への取り組み(5%) 課題プレゼンテーション(15%) により評価する。  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |

|  |  |
|--|--|
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 初回は目が見えなくなったらどんな事に困るか考えてくること。2回目以降は次回の課題を提示するので予習してくること(2h)<br>その後講義ではプリントを配布し、内容の理解を深めるようにする。復習としてプリントを参考にしながら理解を確実なものにする。  |
| キーワード/Keywords   | 視覚、アイバンク、ロービジョンケア、色覚   |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 教科書はない。講義資料を配付。  |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites   |  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp  |
| 備考/Remarks   | 原則対面授業を行います。状況によって変更することがあります。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 外界の情報のほとんどを得る手段である視覚の重要性について学び、視覚、色覚等の多様性を理解してほしい。またロービジョンのヒトに対するケアに積極的に関わってほしい。   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course | 大石明生、上松 聖典、築城英子、草野真央、井上大輔、宮城清弦 / 眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能に関する基本的知識を学び、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できるところまでを目標に授業を行う。/<br>築城 英子/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/<br>大石 明生/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ |
| 授業計画詳細/Course Schedule   |  |
| 回(日時)/Time(date and time)  | 授業内容/Contents  |
| 第1回  | 眼のしくみ<br>ヒトの眼の構造を例として視覚情報を取り込む器官を概説し、その仕組みを考える。  |
| 第2回  | 眼のはたらき<br>ヒトの眼がいかに視覚情報を伝達して構築するかを考える。  |
| 第3回  | 眼の進化1<br>単純な眼から複雑な構造・機能を持った眼への進化を考える。  |
| 第4回  | 眼の進化2<br>様々な動物の眼のしくみを比較しながら特性を考える。   |
| 第5回  | 眼の透明組織<br>眼には体の他の部位にはみられない透明組織が多く存在する。その理由と透明性を保つしくみを考える。  |
| 第6回  | 近視、遠視、乱視<br>眼の屈折の特性について考え、さらに近視が増加している現状についても考える。  |
| 第7回  | 角膜<br>角膜の生理、病態について考える。   |
| 第8回  | アイバンク<br>角膜移植を斡旋する公的機関であるアイバンクについて概説し、臓器提供についても考える。  |
| 第9回  | 水晶体<br>角膜と同じく透明組織である水晶体について、その生理、病態を考える。   |
| 第10回   | 眼内レンズ<br>水晶体を摘出した際に、代わりに人工のレンズを挿入する。これについて考える。   |
| 第11回   | 全身疾患と眼1<br>糖尿病や高血圧が眼に及ぼす影響を考える。  |
| 第12回   | 全身疾患と眼2<br>眼に影響を及ぼすその他の疾患について考える。  |
| 第13回   | 色覚とその異常<br>ヒトの視覚は3色覚で構成されているが、実はその感じ方には個人差がある。色を感じる原理とその異常について考える。   |

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 第14回 | ロービジョンケア<br>視力不良の患者さんのケアを考える。         |
| 第15回 | 子供の視力の発達と盲学校<br>小児期の視力の特性と盲学校について考える。 |

|   |  |  |                      |
|---|--|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07  |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective  | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593002901   | 科目番号 / Course code                                       | 05930029             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b8重要な耳鼻咽喉科学(聴覚・嗅覚・味覚)を学ぶ / Disorders and Recovery of the Sense and Function in Otolaryngology  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 熊井 良彦, 大野 純希, 寺門 万里子, 吉田 晴郎 / Yoshida Haruo, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 池永 まり, 西 秀昭  |  |                      |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 熊井 良彦  |  |                      |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 熊井 良彦, 大野 純希, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 西 秀昭  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール  |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4  | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟24 / RoomA-24  |  |                      |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class)  | 医学部保健学科, 歯学部, 情報データ科学部, 工学部, 環境科学部   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address   | junki-o nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際には を@に置き換えて送信して下さい)   |  |                      |
| 担当教員研究室 / Office  | 長崎大学病院本館11階 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野担当  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-7349   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours  | 月から金曜日 10時から17時  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview   | <p>ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、これらの五感コミュニケーションにとって非常に重要であり、ヒトの生活の質(QOL)を決める重要な要素である。</p> <p>本テーマでは五感の仕組みや疾患との関連性、どのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合どのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。</p>  |  |                      |
| 授業到達目標 / Course goals   | <p>1. 感覚器や機能の障がいをもつということ、個の多様性、またそのような障がいをもつ人が社会で生活を送るうえでの問題点を理解できる。</p> <p>2. 感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動ができる。</p>  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society   |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking   | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p> |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation  | レポート課題(70点) + 授業への取り組み(30点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照   |  |                      |
| 事前、事後学修の内容 / Preparation & Review   | 高等学校生物 Bおよび生物 で使用した図譜などを用い、感覚器、とくに聴覚・嗅覚・味覚・触覚についての概要を把握して授業に臨むことが望ましい。(4時間)  |  |                      |
| キーワード / Keywords  | 聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、摂食、嚥下、音声、言語、頭頸部癌  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書 / Materials  | 新耳鼻咽喉科学 南山堂  |  |                      |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites  |  |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |
| 備考/Remarks   | 対面実施（オンラインで行う授業の回は別途LACSで連絡する）   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   |  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 熊井 良彦/長崎大学病院における診療業務/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/<br>西秀昭/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/<br>木原千春/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/<br>佐藤智生/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 1 (6月12日)  | 嚥下 生理と障害   |
| 2 (6月12日)  | 嚥下 リハビリと手術   |
| 3 (6月19日)  | 耳の解剖・生理、聴力検査   |
| 4 (6月19日)  | 鼻・副鼻腔疾患  |
| 5 (6月26日)  | めまい・平衡   |
| 6 (6月26日)  | 耳疾患各論 : 外耳・中耳  |
| 7 (7月3日)   | 耳疾患各論 : 内耳   |
| 8 (7月3日)   | 耳疾患各論 : 顔面神経   |
| 9 (7月10日)  | 音声・気管・食道疾患   |
| 10 (7月10日)   | 画像診断、良性疾患  |
| 11 (7月24日)   | 側頭骨・頭蓋底疾患  |
| 12 (7月24日)   | 口腔・咽頭・唾液腺疾患  |
| 13 (7月31日)   | 頭頸部腫瘍 総論 頭頸部癌  |
| 14 (7月31日)   | 頭頸部腫瘍 疾患各論   |
| 15 (8月7日)  | 耳鼻咽喉科の救急疾患   |

|   |  |   |                      |
|---|--|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11  |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective  | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593003301   | 科目番号 / Course code                                    | 05930033             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b9ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康 / Genetics/Epigenetics and Our Health  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito, 古里 文吾 / Furusato Bungo   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito, 古里 文吾 / Furusato Bungo   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール  |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4  | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟33 / RoomA-33  |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | hiromori nagasaki-u.ac.jp (メール送信の際は を@に置き換えて送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 長崎大学病院小児科10階教室   |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-7298   |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 長崎大学病院小児科医局受付 10:00~16:00  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | <p>ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症のジェネティクス・エピジェネティクス</li> <li>・臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェネティクスの異常によるヒトの病気</li> <li>・こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス</li> <li>・ゲノム診療</li> <li>・老化と再生、若返りの脳神経科学</li> </ul>  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 講義を通じて、ジェネティクスとエピジェネティクスの概念が理解できるようになる。自分自身の健康にそれがどのように関わっているのか考察することができるようになる。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society   |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p> |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 各講師から出されたテーマをレポートにまとめ提出(100点)  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照   |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | <p>予習: 講義資料を確認し事前に学習する(2時間)</p> <p>復習: それぞれの講義について提示される課題についてレポートを作成し提出する(2時間)</p>   |   |                      |
| キーワード/Keywords  |  |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 必要に応じて資料を配布する  |   |                      |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites  | 講義日に講義に参加できること、オンライン(zoom)講義に必要な機材や環境が整っていること  |   |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br/>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br/>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>   |   |                      |

|  |   |
|--|---|
| 備考/Remarks   | この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   |   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience                                    | Y   |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course | 実務家教員名:森内 浩幸 /下崎 康治 /今村 明 /伊達木 澄人 /古里 文吾 /<br>実務経験内容:大学医学部医学科・保健学科、教育学部などでの教育経験21年以上<br>実務経験に基づく教育内容:対面講義、オンライン講義、セミナー形式、実習指導など |
| 授業計画詳細/Course Schedule   |   |
| 回(日時)/Time(date and time)  | 授業内容/Contents   |
| 1回目/4月10日(月)4限目  | 【対面】講義担当:伊達木 澄人<br>臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気  |
| 2回目/4月10日(月)5限目  | 【対面】講義担当:伊達木 澄人<br>臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気  |
| 3回目/4月17日(月)4限目  | 【対面】講義担当:伊達木 澄人<br>臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気  |
| 4回目/4月17日(月)5限目  | 【対面】講義担当:伊達木 澄人<br>臨床遺伝学入門 ジェネティクスとエピジェティクスの異常によるヒトの病気  |
| 5回目/4月24日(月)4限目  | 【対面】講義担当:森内 浩幸<br>多様性が生み出す豊かさと限りある命(1)  |
| 6回目/4月24日(月)5限目  | 【対面】講義担当:森内 浩幸<br>多様性が生み出す豊かさと限りある命(2)  |
| 7回目/5月8日(月)4限目   | 【対面】講義担当:下崎 康治<br>老化と再生、若返りの脳神経科学   |
| 8回目/5月8日(月)5限目   | 【対面】講義担当:下崎 康治<br>老化と再生、若返りの脳神経科学   |
| 9回目/5月15日(月)4限目  | 【対面】講義担当:今村 明<br>こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス   |
| 10回目/5月15日(月)5限目   | 【対面】講義担当:今村 明<br>こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス   |
| 11回目/5月22日(月)4限目   | 【対面】講義担当:古里 文吾<br>がんゲノム医療の現状  |
| 12回目/5月22日(月)5限目   | 【対面】講義担当:古里 文吾<br>がんゲノム医療の実践  |
| 13回目/5月29日(月)4限目   | 【対面】講義担当:今村 明<br>こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス   |
| 14回目/5月29日(月)5限目   | 【対面】講義担当:今村 明<br>こころの領域のジェネティクス・エピジェネティクス   |
| 15回目/6月5日(月)4限目  | 【対面】講義担当:森内 浩幸<br>感染症のジェネティクス・エピジェネティクス   |
| 16回目/6月5日(月)5限目  | 各講師から出されたテーマの課題を作成する時間に充てる  |

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 火 / Tue 4, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230593003101  | 科目番号 / Course code                                      | 05930031             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   |   |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b9ジェネティクスとエピジェネティクスの違い / Difference between Genetics and Epigenetics  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟43 / RoomA-43   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部  |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | 吉浦孝一郎<kyoshi nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)<br>池田裕明<hikeda nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)<br>木住野達也<kishino nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)<br>伊達木澄人<sdateki1 nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 長崎大学原爆後障害医療研究所 2階人類遺伝学  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-819-7120  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 水曜日PM5:00~6:00<br>木曜日PM5:00~6:00  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | ヒトの病気や様々な体質が遺伝 (genetics) にもとづくものであることを理解するとともに, エピゲノムによっても調整されていることを学ぶ。それらの知識をもとに, 最近のいろいろな話題を取り上げる。   |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | 1. 遺伝現象について説明出来る。<br>2. 遺伝の原理について説明出来る。<br>3. 遺伝子組換え技術とゲノム編集について説明出来る。<br>4. 遺伝性疾患の成り立ちを概説できる。<br>5. エピジェネティック現象について説明出来る。<br>6. がんと遺伝, がんエピジェネティック現象について説明出来る。   |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | 授業に積極的に取り組む姿勢 (50%), および<br>期末の試験 (50%) を参考に評価する。<br>講義回数の 1/3 を超えて欠席した学生には, 受験資格を認めない。<br><br>ただし, 担当教員 4 名は, 各々に評価する (25点/各自) ので, 担当教員の授業の始めによく確認すること。  |   |                      |

| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |        |
|--|---|--------|
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | <p>予習：授業資料は予めLACS を通して upload するので、それらに目を通して講義に望む。必要ならば、高校の教科書によって予習すること（目安：1時間）。</p> <p>復習：授業のノート、資料により復習して、考え方を身に付けること（目安：1時間）。</p>   |        |
| キーワード/Keywords   | <p>遺伝（inheritance）、遺伝学（genetics）、エピジェネティクス（epigenetics）、ゲノム編集（genome editing）、がんの遺伝学（cancer genetics）、環境とジェネティクス・エピジェネティクス（interaction between environment and genetics/epigenetics）</p>  |        |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 指定しない。専門科目ではないので、授業資料で十分である。  |        |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   |   |        |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br/> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br/> （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>                         |        |
| 備考/Remarks   | <p>全ての授業で対面形式で実施する予定です。</p> <p>状況によっては、あるいは急用があったりした場合には、変更となる可能性があります。その場合にはLACSで連絡します。</p>  |        |
| 学生へのメッセージ/Message for students   |   |        |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y   |        |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | <p>吉浦孝一郎：分子遺伝学研究に基づき、ジェネティクス、エピジェネティクスの基盤原理を解説する。</p> <p>池田裕明：がんの発症メカニズム、治療法研究に基づき、がん発症・治療におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性を解説する。</p> <p>木住野達也：エピゲノム研究、遺伝子改変モデル生物研究に基づきそれ研究におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性・有用性を解説する。</p> <p>伊達木澄人：遺伝性疾患の臨床経験に基づき、病気の発症原因や診断、治療についてジェネティクス、エピジェネティクスの観点から説明する。</p> |        |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |   |        |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents   | 授業手法 / |
| 第1回  | <分子生物学入門：担当 吉浦，2023-Apr-11><br>ジェネティクスとエピジェネティクス理解のための細胞と分子生物学入門。細胞機能や DNA / RNA の物理性質等を講義する。   | F      |
| 第2回  | <ジェネティクス・エピジェネティクスの基本原理：担当 吉浦，2023-Apr-11><br>メンデル遺伝を含めた遺伝現象の基本、およびエピジェネティック現象の内容を講義する。   | F      |
| 第3回  | <ジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2023-Apr-18><br>メンデル遺伝病（常染色体優性、劣性遺伝）の臨床的特徴について概説する。  | F      |
| 第4回  | <ジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2023-Apr-18><br>メンデル遺伝病（X連鎖性）とミトコンドリア病の臨床的特徴について概説する。  | F      |
| 第5回  | <がんのジェネティクスとエピジェネティクス 1：担当 池田，2023-Apr-25><br>発がんにおけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。   | F      |
| 第6回  | <がんのジェネティクスとエピジェネティクス 2：担当 池田，2023-Apr-25><br>がんの進展におけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。   | F      |
| 第7回  | <がん免疫 1：担当 池田，2023-May-9><br>がん免疫の関わりを解説する。   | F      |
| 第8回  | <がん免疫 2：担当 池田，2023-May-9><br>がん免疫療法について解説する。  | F      |
| 第9回  | <遺伝子組換え技術とゲノム編集：担当 木住野，2023-May-16><br>知ってるようで知らない遺伝子組換え技術と最新のゲノム編集について解説する   | D      |

|      |   |   |
|------|---|---|
| 第10回 | < 遺伝子組換えと生物の多様性：担当 木住野，2023-May-16 ><br>生物の多様性と遺伝子組換えは密接に関わっています。それらと，ジェネティクス・エピジェネティクスの関わりについて解説する。  | D |
| 第11回 | < 遺伝子組換え技術と医療：担当 木住野，2023-May-23 ><br>医療にかかせない遺伝子組換え技術に，近い将来ゲノム編集が加わるかも知れない。技術の医学への応用について解説する。  | D |
| 第12回 | < エピジェネティクスの臨床：担当 伊達木，2023-May-23 ><br>インプリンティング疾患の臨床的特徴について概説する。   | F |
| 第13回 | < 身近なエピジェネティクス：担当 木住野，2023-May-30 ><br>クローン生物を知ってますか？クローン生物の話題においても，ジェネティクス，エピジェネティクスは重要な役割を果たしている。それらの関わりについて解説する。   | D |
| 第14回 | < 遺伝カウンセリングの実際：担当 伊達木，2023-May-30 ><br>遺伝性疾患を対象とした医療の実際における，遺伝カウンセリングの実際、意義、必要性について理解する。<br>基礎的な学問であるジェネティクス，エピジェネティクスの医療への応用について説明する。                                | F |
| 第15回 | < 獲得形質の遺伝とまとめ：担当 吉浦，2023-Jun-6 ><br>獲得形質の遺伝は，とんでも科学の一つ？ 獲得形質の遺伝について，ジェネティクス，エピジェネティクスの観点から概説する。また，最後に，本講義全体のまとめを行う。   | F |
| 第16回 | < 試験：担当 吉浦，2023-Jun-6 ><br>講師全員分についてまとめて期末試験を行う。ただし，講師によっては，異なる評価法，途中の試験で評価する可能性もあるので，各講師の指示に従って対策すること。<br>第16回目の講義日の試験は，場合によっては，第15回授業時から開始する可能性もあるので，最終週は必ず出席すること！！ | F |

|   |   |   |                      |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593003701  | 科目番号 / Course code                                    | 05930037             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b10健康課題と健康増進 / Health Issues and Health Promotion   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Miwa Furukawa, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 富永 ちはる / Chiharu Tominaga, 西 祐樹   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 田中 貴子 / Tanaka Takako   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Miwa Furukawa, 富永 ちはる / Chiharu Tominaga, 西 祐樹   |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟41 / RoomA-41   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医学科・歯・情・工・環   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | tanakataka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)   |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 医学部保健学科3F<br>田中研究室  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-7919  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 金曜日 9:30~12:30  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 学生自ら、青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食事、メンタルヘルス等について理解する。また、健康に関わる問題点を抽出し、その解決方法を身につける。  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体活動と食事のセルフチェックができるようになる。(DP-1・3)</li> <li>2. 家庭医学知識のレベルを高める。(DP-1・3)</li> <li>3. 青年期における健康づくりの意義と問題点について理解できるようになる。(DP-7)</li> <li>4. 精神的な健康について理解できるようになる。(DP-7)</li> <li>5. 健康における運動、スポーツの意義について理解できるようになる。(DP-7)</li> </ol>   |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | <ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</li> </ol> |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 授業へ臨む態度(20%),グループワーク・討論での積極性(20%),発表およびレポート内容(60%)を総合して評価する。100点のうち,60点以上を合格とする。  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | <p>予習: 特に指定しないが、授業内容の理解と発表の為に事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行い、グループごとの意見のまとめを共同して準備すること。またディスカッションには積極的に参加すること。(毎回2時間)</p> <p>復習: 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、プレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習を行い、理解を確実にするよう努めること。(毎回2時間)</p>   |   |                      |
| キーワード/Keywords  | 健康, 家庭医学, ヘルスポロモーション, 食生活, メンタルヘルス, 体力  |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 特に定めない。配布資料。  |   |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  |   |   |                      |

|   |  |
|---|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |
| 備考/Remarks  | 授業は全て対面形式で実施します。<br>授業の初回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。<br>その際はLACSでご連絡いたします。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 健康科学と医学の知識を高めるとともに、自身の健康増進や体力増進の実践方法を学んでください。<br>また、ペアワークやグループワークを行いますので、友達を増やす機会になればと思います。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | 第1～4回,15回：田中貴子/理学療法士として長崎市内の病院に勤務した経験をもとに青壮年の健康について、高齢期における心身の変化からの視点も含めて教授する。<br>第5～6回：西 祐樹/理学療法士として大阪での病院に勤務した経験をもとに青壮年における体力とそのトレーニングについて教授する。<br>第7～10回：富永ちはる/カウンセラーとして長崎大学保健・医療推進センターにての実務経験をもとに青年期のメンタルヘルスについて教授する。<br>第11～14回：古川美和/管理栄養士として長崎市内の施設に勤務している経験をもとに青壮年の食生活について教授する。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 4月10日   | (対面) 担当：田中貴子<br>オリエンテーション<br>青年期の健康を考える：身体機能について学ぶ   |
| 4月10日   | (対面) 担当：田中貴子<br>青年期の健康を考える；医学知識を高める  |
| 4月17日   | (対面) 担当：田中貴子<br>高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える  |
| 4月17日   | (対面) 担当：田中貴子<br>高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える  |
| 4月24日   | (対面) 担当：西 祐樹<br>青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ  |
| 4月24日   | (対面) 担当：西 祐樹<br>青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ  |
| 5月8日  | (対面) 担当：富永ちはる<br>青年期のメンタルヘルスについて学ぶ   |
| 5月8日  | (対面) 担当：富永ちはる<br>青年期のメンタルヘルスについて学ぶ   |
| 5月15日   | (対面) 担当：富永ちはる<br>青年期のメンタルヘルスについて学ぶ   |
| 5月15日   | (対面) 担当：富永ちはる<br>青年期のメンタルヘルスについて学ぶ   |
| 5月22日   | (対面) 担当：古川美和<br>青年期の食生活について学ぶ  |
| 5月22日   | (対面) 担当：古川美和<br>青年期の食生活について学ぶ  |
| 5月29日   | (オンデマンド) 担当：古川美和<br>青年期の食生活について学ぶ  |
| 5月29日   | (オンデマンド) 担当：古川美和<br>青年期の食生活について学ぶ  |
| 6月5日  | (対面) 担当：田中貴子<br>青年期の健康を考える；現在の問題点を探る・対策を考える  |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230593003501  | 科目番号 / Course code                                       | 05930035             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  |   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b10リプロダクティブヘルス入門 / Introduction to Reproductive Health  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 神徳 備子, 上野 美穂  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 神徳 備子, 上野 美穂  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟31 / RoomA-31   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医学科・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 坂本キャンパス 医学部保健学科4階   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-7950  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 事前に連絡してください   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 1. 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題について学び、リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)を作成し一生を見渡すことで、自分自身の健康につなげることができる。<br>2. 結婚、妊娠、出産、乳幼児の発育・発達、育児について学び、フィールドリサーチを行うことでリプロダクティブヘルスの健康課題を理解し、自らの課題として解決方法を考えることができる。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)について説明できる。<br>妊娠・出産・育児の中での役割について説明できる。<br>胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。<br>結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決方法について発表できる。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 授業へ臨む態度 30点(15回×2点)小テスト20点、フィールドリサーチ課題10点、<br>課題レポート(ライフプラン作成)10点、グループワーク課題(リプロダクティブヘルス)10点<br>プレゼンテーション10点、最終課題レポート10点 計100点満点(60点以上で合格)<br>評価者:各講義担当者が行う。最終評価は科目責任者が行う。   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 事前学習:各回の講義内容について文献、インターネット等を通じて予習する(2h/日)。<br>事後学習:レジメ等を参考にして授業内容についてノートにまとめる(2h/日)。  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | リプロダクティブヘルス、プレコンセプション、結婚、妊娠、出産、育児   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教科書なし 必要に応じて資料を配布する。  |  |                      |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites  |   |  |                      |

|  |  |             |
|--|--|-------------|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br/> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br/> (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>   |             |
| 備考/Remarks   | <p>【講義・演習】<br/> 授業は対面で実施します（一部リアルタイムオンライン）。<br/> 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。<br/> その場合はLACSで連絡します。</p> <p>1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。</p> <p>2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、定期試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。</p> <p>人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など</p> |             |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | <p>リプロダクティブライフプラン（生殖に関する人生設計）を考え、自分自身の健康へとつなげてほしいと思います。</p>  |             |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | <p>Y</p>   |             |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | <p>永橋 美幸/助産師/実務経験に基づき結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスについて講義を行う。/神徳備子/助産師/実務経験に基づき結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスについて講義を行う。/<br/> 上野 美穂/認定看護師(小児救急看護)/実務経験に基づき、小児の救急処置について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/</p>  |             |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |             |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  | 授業手法 /      |
| 第1回 (6/12)   | <p>授業ガイダンス<br/> リプロダクティブヘルス、プレコンセプションケア 【リアルタイムオンライン】(永橋, 神徳)</p>  | A           |
| 第2回 (6/12)   | <p>リプロダクティブライフプラン（生殖に関する人生設計）について【リアルタイムオンライン】(神徳)</p>   | A           |
| 第3回 (6/19)   | <p>避妊【対面】(神徳)</p>  | A           |
| 第4回 (6/19)   | <p>性感染症【対面】(神徳)</p>  | A           |
| 第5回 (6/26)   | <p>グループワーク(リプロダクティブヘルスに関連するテーマ)【対面】(永橋, 神徳)</p>  | A<br>B      |
| 第6回 (6/26)   | <p>グループワーク発表【対面】(永橋, 神徳)</p>   | A<br>B      |
| 第7回 (7/3)  | <p>マザリングマザー、妊娠中からの親子のコミュニケーション、出産【対面】(永橋)</p>  | A           |
| 第8回 (7/3)  | <p>新生児の能力と養護、乳幼児の心身の発達・発育(マザリーズ)【対面】(永橋)</p>   | A           |
| 第9回 (7/10)   | <p>乳幼児の病気【対面】(上野)</p>  | A<br>C      |
| 第10回 (7/10)  | <p>乳幼児の事故【対面】(上野)</p>  | A<br>B<br>C |
| 第11回 (7/24)  | <p>結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題(フィールドリサーチ)(永橋)</p>   | A<br>B<br>C |

|             |  |             |
|-------------|--|-------------|
| 第12回 (7/24) | 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題(フィールドリサーチ)(永橋)                | A<br>B<br>C |
| 第13回 (7/31) | 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策(グループワーク)【リアルタイムオンライン】(永橋) | A<br>B      |
| 第14回 (7/31) | 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策(グループワーク)【リアルタイムオンライン】(永橋) | A<br>B      |
| 第15回 (8/7)  | 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策(プレゼンテーション)【対面】(永橋)        | A<br>B      |

|   |   |   |                      |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587003701  | 科目番号 / Course code                                      | 05870037             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 11751_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b11審美 / Esthetics   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 佛坂 齊祉 / Hotokezaka Hitoshi, 田上 直美 / Tanoue Naomi, 平 曜輔 / Taira Yousuke  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 田上 直美 / Tanoue Naomi, 平 曜輔 / Taira Yousuke  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育B棟34 / RoomB-34   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・情・工・環   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 尾立/odatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>右藤/y-uto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>江越/egoshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>平/yohsuke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>田上/t-naomi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 大学病院8階 医歯薬総合研究科口腔インプラント学分野  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | メールにて連絡すること   |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 17時~18時   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。   |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。(、)<br>プレゼンテーションなどにおいて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。( )  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | プレゼンテーションやレポートの提出(70%)、授業への取組み(30%)で評価します。  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前・事後学修の内容/Preparation & Review   | プレゼンテーションの準備(2h)、レポートの作成を求めます。(2h)  |   |                      |
| キーワード/Keywords  |   |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教科書等の準備は必要ありません。  |   |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  |   |   |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |   |                      |

|   |  |
|---|--|
| 備考/Remarks  | この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | プレゼンテーションやレポートの提出があるため、欠席しないようお願いします。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 平 曜輔/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における保存修復治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/<br>右藤 友督/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/<br>江越 貴文/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/ |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回   | 審美修復 1 (右藤)  |
| 第2回   | 審美修復 2 (右藤)  |
| 第3回   | 審美修復 3 (右藤)  |
| 第4回   | 審美材料 1 (尾立)  |
| 第5回   | 審美材料 2 (尾立)  |
| 第6回   | 審美材料 3 (尾立)  |
| 第7回   | 審美修復 4 (平)   |
| 第8回   | 審美修復 5 (平)   |
| 第9回   | 審美修復 6 (平)   |
| 第10回  | 審美修復 7 (田上)  |
| 第11回  | 審美修復 8 (田上)  |
| 第12回  | 審美修復 9 (田上)  |
| 第13回  | 美について 1 (江越)   |
| 第14回  | 美について 2 (江越)   |
| 第15回  | 美について 3 (江越)   |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period   | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587002501  | 科目番号 / Course code   | 05870025             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 11721_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b11食の科学 / Science for Food Intake   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 日高 聖 / Hidaka Kiyoshi,<br>佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 川下 由美子 / Kawashita Yumiko   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 日高 聖 / Hidaka Kiyoshi,<br>佛坂 斉祉 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style  | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟23 / RoomA-23   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 日高 聖 : hidaka2 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>久松 徳子 : norinori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>五月女 さき子 : sakiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>川下 由美子 : yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>佛坂 斉祉 : hotoke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 歯学部   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 日高 聖 : hidaka2 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>久松 徳子 : norinori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>五月女 さき子 : sakiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>川下 由美子 : yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>佛坂 斉祉 : hotoke nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 水曜日17~18時   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 私たちを含むすべての生物は、食べるという行為によって有機物を体内に取り込み、エネルギーを産み出し、身体を構成する組織に変換していくことで、生命が誕生したときから命を引き継いできました。つまり食べるということは生きていく事そのものなのです。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りの口ともいえます。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深めることが出来ればと思います。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | 5名の教官で担当するので5名それぞれが20点満点、合計100点で評価し、60点以上を合格とする。   |
| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照   |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 事後学習に重点を置いて、授業の理解と発表のために、講義内容の学修と知識の習得を行うこと(2h)。<br>また、ディスカッションには積極的に参加すること。講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について復習をすること(2h)。  |
| キーワード/Keywords   | 口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学、進化、多様性、審美  |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 特になし。資料は講義内で配布する。  |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   |  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 記載例：授業は対面形式で実施します。<br>最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。<br>その場合はLACS で連絡します。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 5名の教官の専門はそれぞれ違うので多様な歯科を見て欲しい。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 各回の授業内容に準じる。   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | 川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面  |
| 第2回  | 川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面  |
| 第3回  | 日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面   |
| 第4回  | 日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面   |
| 第5回  | 日高 聖：食べる機能の発達と先天性疾患 / 対面   |
| 第6回  | 久松 徳子：嚥下って何？ / 対面  |
| 第7回  | 久松 徳子：嚥下が悪くなるどうなるの？ / 対面   |
| 第8回  | 久松 徳子：嚥下機能が悪くなったらどうしたらいい？ / 対面   |
| 第9回  | 五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面  |
| 第10回   | 五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面  |
| 第11回   | 五月女 さき子：食をクリティカルに考える / 対面  |
| 第12回   | 佛坂 斉社：歯列と口元の審美と健康の関係について / オンライン（リアルタイム）   |
| 第13回   | 佛坂 斉社：生物の進化と多様性について / オンライン（リアルタイム）  |
| 第14回   | 佛坂 斉社：生物の進化と多様性について / オンライン（リアルタイム）  |
| 第15回   | 川下 由美子：砂糖とう蝕 / 対面  |
| 第16回   | 予備   |

|  |   |   |                      |
|--|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                      | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587002901  | 科目番号 / Course code                                      | 05870029             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 11731_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b12口と疾患 / Oral Diseases   |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou   |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou   |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                     | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟32 / RoomA-32   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | Engineering・Environmental   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | ayoshi nagasaki-u.ac.jp (Yoshimura) (Replace with before sending an e-mail)<br>yanagi nagasaki-u.ac.jp (Yanagiguchi)<br>torisu nagasaki-u.ac.jp (Torisu)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office   | Room for associate and senior assistant professor of Periodontology (Yoshimura)<br>Room for associate and senior assistant professor of Cariology (Yanagiguchi)<br>Room for teachers of Prosthodontics (Torisu)   |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-819-7681(Yoshimura), 819-7693(Torisu), 819-7678(Yanagiguchi)  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | Monday-Friday 9:00-17:00<br>E-mail message is preferable.   |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | You will understand the causes, symptoms, treatment methods and preventive methods of the main disease in mouth such as a temporo-mandibular joint disorder, a chewing disorder, caries, periodontal diseases. Furthermore, using knowledge necessary to maintain the health in the mouth, you will find the methods to keep your mouth healthy.  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | You will be able to explain main causes and symptoms of the principle mouth diseases (5, 7, 8)。<br>You will be able to explain rough treatment methods of the principle mouth diseases (3)。<br>You will be able to explain rough preventive methods of the principle mouth diseases (10, 11)。<br>You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by yourself (1, 2, 6)。<br>You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by   |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | Reports (75%), presentation(25%)  |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | You need to carry out prior researches about the contents of the class before every class for discussion (2h). After the class, you need to make a report according to the discussion and researched results (2h).  |   |                      |
| キーワード/Keywords   | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder, dental caries, periodontal diseases   |   |                      |

|  |   |
|--|---|
| 教科書・教材・参考書/Materials   | You do not have to purchase textbooks. Some reference books will be introduced in the   |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites   | You need to attend two-third or more of the classes.  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.<br>Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E- |
| 備考/Remarks   | face-to-face lessons  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | Review the knowledges that you learned in module I.   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y   |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course | Atsutoshi Yoshimura/Experience as a dentist/<br>Tetsuro Torisu/Experience as a dentist/<br>Gajiro Yanagiguchi/Experience as a dentist/  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |   |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents   |
| 1st 4/11(Tue) 3  | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 1 ) Torisu : face-to-face lesson   |
| 2nd 4/11(Tue) 4  | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 2 ) Torisu : face-to-face lesson   |
| 3rd 4/18(Tue) 3  | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 3 ) Torisu : face-to-face lesson   |
| 4th 4/18(Tue) 4  | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 4 ) Torisu : face-to-face lesson   |
| 5th 4/25(Tue) 3  | Temporomandibular joint disorder, chewing disorder ( 5 ) Torisu : face-to-face lesson   |
| 6th 4/25(Tue) 4  | Causes and symptoms of the caries ( 1 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson   |
| 7th 5/9(Tue) 3   | Causes and symptoms of the caries ( 2 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson   |
| 8th 5/9(Tue) 4   | Treatment and the prevention of the caries ( 1 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson  |
| 9th 5/16(Tue) 3  | Treatment and the prevention of the caries ( 2 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson  |
| 10th 5/16(Tue) 4   | Treatment and the prevention of the caries ( 3 ) Yanagiguchi : face-to-face lesson  |
| 11th 5/23(Tue) 3   | Periodontal diseases ( 1 ) Yoshimura : face-to-face lesson  |
| 12th 5/23(Tue) 4   | Periodontal diseases ( 2 ) Yoshimura : face-to-face lesson  |
| 13th 5/30(Tue) 3   | Periodontal diseases ( 3 ) Yoshimura : face-to-face lesson  |
| 14th 5/30(Tue) 4   | Periodontal diseases ( 4 ) Yoshimura : face-to-face lesson  |
| 15th 6/6(Tue) 3  | Periodontal diseases ( 5 ) Yoshimura : face-to-face lesson  |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587002901  | 科目番号 / Course code                                       | 05870029             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 11731_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b12口と疾患 / Oral Diseases   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟32 / RoomA-32   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | ayoshi nagasaki-u.ac.jp(吉村) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>yanagi nagasaki-u.ac.jp(柳口) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>torisu nagasaki-u.ac.jp(鳥巢) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 歯周歯内治療学教授室(吉村)<br>歯周歯内治療学准教授・講師室(柳口)<br>歯科補綴学教員室(鳥巢),   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 819-7681(吉村)<br>819-7682(柳口)<br>819-7693(鳥巢)  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 月～金曜日 9:00～17:00<br>Eメールにより質問を受け付けます。上記Eメールアドレスに連絡してください。   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の中の主な疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解する。さらに、口の中の健康を維持するために必要な知識を用いて、口の中の健康を増進するために活かす態度を見につける。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 主な口の疾患の原因と症状について説明できる(5、7、8)。<br>主な口の疾患の治療法について説明できる(3)。<br>主な口の疾患の予防法について説明できる(10、11)。<br>口の中の健康を増進するための方法について、自ら考えることができる(1、2、6)。<br>口の中の健康を増進するための方法について、他者と協働で考えることができる(4、11、12)。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | レポートなどの提出物(75%)、発表態度(25%)。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 毎回各自で授業内容に関してネットや文献で事前調査し、ディスカッションの前準備をすること(2h程度)。授業後は調査した資料とディスカッションの結果をもとにレポートを作成・修正すること(2h程度)  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。   |  |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  | 開講された講義の3分の2以上に出席すること。  |  |                      |

|  |   |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 対面授業で実施   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | モジュール で学習した内容は、復習しておくこと。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience                                    | Y   |
| 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course | 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/<br>鳥巢 哲朗/大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供/<br>柳口 嘉治郎/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯周治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/                          |
| 授業計画詳細/Course Schedule   |   |
| 回(日時)/Time(date and time)  | 授業内容/Contents   |
| 第1回 4/11(火) 3校時  | 顎関節障害・咀嚼障害(1)(鳥巢哲朗):対面  |
| 第2回 4/11(火) 4校時  | 顎関節障害・咀嚼障害(2)(鳥巢哲朗):対面  |
| 第3回 4/18(火) 3校時  | 顎関節障害・咀嚼障害(3)(鳥巢哲朗):対面  |
| 第4回 4/18(火) 4校時  | 顎関節障害・咀嚼障害(4)(鳥巢哲朗):対面  |
| 第5回 4/25(火) 3校時  | 顎関節障害・咀嚼障害(5)(鳥巢哲朗):対面  |
| 第6回 4/25(火) 4校時  | 齲蝕の原因と症状(1)(柳口嘉治郎):対面   |
| 第7回 5/9(火) 3校時   | 齲蝕の原因と症状(2)(柳口嘉治郎):対面   |
| 第8回 5/9(火) 4校時   | 齲蝕の治療と予防(1)(柳口嘉治郎):対面   |
| 第9回 5/16(火) 3校時  | 齲蝕の治療と予防(2)(柳口嘉治郎):対面   |
| 第10回 5/16(火) 4校時   | 齲蝕の治療と予防(3)(柳口嘉治郎):対面   |
| 第11回 5/23(火) 3校時   | 歯周病の症状と治療(1)(吉村篤利):対面   |
| 第12回 5/23(火) 4校時   | 歯周病の症状と治療(2)(吉村篤利):対面   |
| 第13回 5/30(火) 3校時   | 歯周病の症状と治療(3)(吉村篤利):対面   |
| 第14回 5/30(火) 4校時   | 歯周病の症状と治療(4)(吉村篤利):対面   |
| 第15回 6/6(火) 3校時  | 歯周病の症状と治療(5)(吉村篤利):対面   |

|  |   |  |                      |
|--|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587057101  | 科目番号 / Course code                                       | 05870571             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 15531_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b12口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus  | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟24 / RoomA-24   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | hmurata nagasaki-u.ac.jp (Change to @)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office   | Nagasaki University Hospital 8F room839   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 095-819-7690  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | Murata: Wednesday 17:00 - 18:00   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | Students study oral function, change by the aging in the alveolar bone collagen and so  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | Students can explain importance and methods of maintenance and improvement of oral  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | Report (50%), Contribution toward class (50%)   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course<br>contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | Study method of presentation (2h), Review (2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords   | Super aging society, Oral function, QOL, Sleep, respiratory function, collagen, Nagasaki  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials   |   |  |                      |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   | Students must attend the classes of more than 2/3 and submit reports.   |  |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students<br>with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的<br>障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ<br>いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい<br>。<br>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp   |  |                      |
| 備考/Remarks   |   |  |                      |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | Please do not hesitate to ask the questions.  |  |                      |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y   |  |                      |

|  |   |
|--|---|
| <p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p> | <p>村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を講義する。/<br/>         鮎瀬 卓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/<br/>         山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/</p> |
|--|---|

授業計画詳細 / Course Schedule

| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents  |
|-----------------------------|--|
| 1st (6/13)                  | Explanation of theme and method of investigation concerning oral function. Investigation by each group. (Murata) |
| 2nd (6/13)                  | Investigation by each group. (Murata)  |
| 3rd (6/20)                  | Investigation by each group. (Murata)  |
| 4th (6/20)                  | Investigation by each group. (Murata)  |
| 5th (6/27)                  | Presentation by each group. Lecture concerning oral function. (Murata)   |
| 6th (6/27)                  | Leading-edge of Medical AI: Lecture. Determination of theme for each group. (Tamada)                             |
| 7th (7/4)                   | Investigation by each group. (Tamada)  |
| 8th (7/4)                   | Interim Presentation. Investigation by each group. (Tamada)  |
| 9th (7/11)                  | Investigation by each group. (Tamada)  |
| 10th (7/11)                 | Final Presentation. Commentary. (Tamada)   |
| 11th (7/18)                 | Lecture of Collagen biochemistry and Explanation about group work.(Yamada)                                       |
| 12th (7/18)                 | Investigation by each group. (Yamada)  |
| 13th (7/25)                 | Investigation by each group. (Yamada)  |
| 14th (7/25)                 | Investigation by each group. (Yamada)  |
| 15th (8/1)                  | Presentation by each group and Lecture of Change by the aging in the hard tissue collagen.(Yamada)               |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587057101  | 科目番号 / Course code                                       | 05870571             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 15531_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b12口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟24 / RoomA-24   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 村田 : hmurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 病院本館 8 階839室  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 村田 : 095-819-7690   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 村田 : 水17:00 ~ 18:00   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 口腔の健康を維持そして増進するための重要性と方策を説明できるようになる。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | レポートおよび授業への貢献度により評価します。授業外学習に充てるべき時間：週平均 2時間位<br>【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度50%、レポート等50%   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | プレゼンテーションの手法を事前に学習してほしい。(2h)<br>事後学習(2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・長崎   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯 - 科学的根拠に基づく知識と治療法 (ブルーバックス、早川巖)、およびコラーゲンの話 - 健康と美をまもる高分子 (中公新書、大崎茂芳) を参考にしてください。   |  |                      |
| 受講要件 (履修条件) / Prerequisites   | 全授業の2/3以上の出席、およびレポートを提出しないと成立しません。  |  |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students<br>with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp   |  |                      |
| 備考/Remarks  | 授業は対面形式とオンライン形式のハイブリッド型で実施します。状況によっては変更になる場合もありますが、その際はLACSで連絡します。  |  |                      |

|   |  |
|---|--|
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復や歯科に関する知識を講義する。/<br>山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/<br>玉田 泰嗣/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療など歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/ |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回 (6/13(火)3校時)  | 口腔機能に関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査(村田)(対面)   |
| 第2回 (6/13(火)4校時)  | 各グループで調査(村田)(対面)   |
| 第3回 (6/20(火)3校時)  | 各グループで調査(村田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第4回 (6/20(火)4校時)  | 各グループで調査(村田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第5回 (6/27(火)3校時)  | 発表会、講義・解説(村田)(対面)  |
| 第6回 (6/27(火)4校時)  | 最新の医療AIについて(講義)、グループごとの課題決定(玉田)(対面)  |
| 第7回 (7/4(火)3校時)   | 各グループで調査(玉田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第8回 (7/4(火)4校時)   | 中間発表、各グループで調査(玉田)(オンライン(リアルタイム))   |
| 第9回 (7/11(火)3校時)  | 各グループで調査(玉田)(対面)   |
| 第10回 (7/11(火)4校時)   | 最終発表、解説(玉田)(対面)  |
| 第11回 (7/18(火)3校時)   | コラーゲンの基礎(講義)、課題発表と調査方法等についての説明(山田)(対面)   |
| 第12回 (7/18(火)4校時)   | 各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第13回 (7/25(火)3校時)   | 各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第14回 (7/25(火)4校時)   | 各グループで調査(山田)(オンライン(リアルタイム))  |
| 第15回 (8/1(火)3校時)  | 発表会、コラーゲンの加齢による変化(講義)(山田)(対面)  |

|   |  |  |                      |
|---|--|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07  |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective  | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587014101   | 科目番号 / Course code                                       | 05870141             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 14201_005   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b13生体分子の構造と機能 / Structure and Function of Biological Molecules   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 海野 英昭 / Unno Hideaki, 澤井 仁美  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 海野 英昭 / Unno Hideaki   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 海野 英昭 / Unno Hideaki, 澤井 仁美  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール  |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4  | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟32 / RoomA-32  |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・歯・情・環  |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 海野 : unno_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>澤井 : hitomisawai_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 工学部1号館生体分子化学実験室2-1, 2-2  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 海野 : unno_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)<br>澤井 : hitomisawai_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 随時 (できるだけ前もってメールで問い合わせること)   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | <p>生体の主要成分(タンパク質, 核酸, 糖, 脂質)の特性および機能を理解し, 説明ができるようになる。</p> <p>講義の前半および後半を海野と澤井がそれぞれ担当する。<br/>前半については、生体分子の構造と機能に関する、学生によるプレゼンテーション資料の作成およびその発表(プレゼンテーション)を行う。各自で生体分子と機能に関する内容の発表テーマを決定し、それについての情報収集および発表資料(パワーポイント)の作成を行う事で、科学的知見に基づいた情報を収集し、論理的に思考し、発表としてまとめる能力を養う。また、各自でプレゼンテーションを行う事で、わかりやすい説明、興味を引く話題展開、などのアウトプット能力の向上に取り組む。</p> <p>到達目標: テーマに関する知識・技能を習得する。発表資料作成を行う事で主体性を習得する。資料の作成および発表を通して、論理的組み立てを行う能力を習得する。考えをやり取りする力(ディスカッション能力)を身につける。</p>   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society   |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p> |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 前半(第1~8回)についてはプレゼンテーションの内容(80%)および授業における積極的取り組み(20%)状況等を考慮して成績評価を行う。<br>後半については別途、課題の作成等で評価を行う(100%)。<br>成績は、前半と後半の成績を総合し成績評価とする。  |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| 各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照   |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | テキストの該当部分を事前・事後に読むこと。プレゼンテーション資料の作成。（4h）   |
| キーワード/Keywords   | タンパク質、遺伝子、バイオテクノロジー、生体金属   |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也（編著）化学同人<br>第9-15回の参考書「生命金属ダイナミクス：生体内における金属の挙動と制御」城宜嗣・津本浩平（監修）NTS出版  |
| 受講要件（履修条件）/Prerequisites   |  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 授業は対面またはオンラインで実施します。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students   |  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 海野/臨床検査会社における実務経験/生命科学の講義において、その基礎から臨床検査等への応用技術の発展まで解説する。  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | 生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭  |
| 第2回  | 生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭  |
| 第3回  | 生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭  |
| 第4回  | 生体分子の構造と機能に関する、プレゼンテーション資料作成・グループワーク（対面）：担当 海野 英昭  |
| 第5回  | 生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭   |
| 第6回  | 生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭   |
| 第7回  | 生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭   |
| 第8回  | 生体分子の構造と機能に関するプレゼンテーション（対面）：担当 海野 英昭   |
| 第9回  | からだの中の金属の特徴と機能：生体金属の取り込みと利用に関する生体分子科学（対面・講義形式）：担当 澤井 仁美  |
| 第10回   | からだの中の金属の特徴と機能：生体金属の取り込みと利用に関する生体分子科学（対面・講義形式）：担当 澤井 仁美  |
| 第11回   | 生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク（オンライン）：担当 澤井 仁美   |
| 第12回   | 生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク（オンライン）：担当 澤井 仁美   |
| 第13回   | 生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク、まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美   |
| 第14回   | 生体金属の研究に関するプレゼンテーション資料作成とグループワーク、まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美   |
| 第15回   | まとめ（オンライン）：担当 澤井 仁美  |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period   | 火 / Tue 4, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/08/07   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587063501  | 科目番号 / Course code   | 05870635             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 15671_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b13構造物の世界 / The World of Structures   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki, 原田 哲夫 / Harada Tetsuo, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 海野<br>英昭 / Unno Hideaki, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki, 原田 哲夫 / Harada Tetsuo, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 佐々<br>木 謙二 / Sasaki Kenji   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style  | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟31 / RoomA-31   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | (中原)nakaharahiroyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してく<br>ださい)<br>(佐々木)ksasaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してくださ<br>い)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 工学部1号館<br>601(中原)、503(佐々木)、604(永井)  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2895(中原)、095-819-2592(佐々木)、095-819-2589(永井)   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 基本的には講義終了後講義室,またはmailで受け付ける。  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 身の回りには様々な構造物や製品がある。建物、橋、機械、航空機、船など、すべて構造物と捉え<br>ることができる。それらがどのようにして成り立っているかを学ぶ。また、日頃何気なく使用して<br>いるものの原理や自然現象の科学を理解する。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 自らの意見を正確に表現できるようになる。<br>異なる意見を聞くことができるようになる。<br>構造物として成立するための原理が説明できるようになる。<br>この講義によって、構造物や身の回りの物、自然現象などに共通の原理について考察ができるこ<br>とを到達目標とする。  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲<br>しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 提示されたテーマに対するレポートの結果によって100%評価する。定期試験は実施しない。未提<br>出のレポートや作品がある場合は、不合格とする。<br>レポートでは、自分自身の多面的な考察,意見,感想を主に評価する。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 指示された内容を調べるときがある。   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 構造物、建物、橋、航空機  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教科書は用いない。必要に応じて、資料を配布するとともに、参考文献等を講義中に紹介する。   |  |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  | 全回出席を原則とする。なお、高等学校までの物理学の受講の有無は問わない。  |  |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--|--|
| 備考/Remarks   | 対面実施（オンラインで行う授業の回は別途LACSで連絡する）。<br>担当教員はいずれも工学部構造工学コースの教員であり、構造工学コースのホームページを参照すると授業の理解が進むと思われる。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | テーマの順序が入れ替わることがある。<br>授業への積極的な参加を求める。  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course |  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | 構造物とは（その1）   |
| 第1回  | 構造物とは（その2）   |
| 第3回  | 構造物の成り立ち（その1）  |
| 第4回  | 構造物の成り立ち（その2）  |
| 第5回  | 建築物の構造の特徴（東洋編）   |
| 第6回  | 建築物の構造の特徴（西洋編）   |
| 第7回  | 建築物の構造の特徴（耐震編）   |
| 第8回  | 建築物の構造設計   |
| 第9回  | 橋梁の種類・特徴と設計・施工   |
| 第10回   | コンクリートの種類・特徴   |
| 第11回   | コンクリート構造物のメンテナンス技術   |
| 第12回   | インフラ構造物におけるDX，カーボンニュートラル   |
| 第13回   | 航空機の種類と歴史  |
| 第14回   | 航空機はなぜ飛ぶか  |
| 第15回   | 航空機の推進方法と安定性   |
| 第16回   | 航空機の構造と設計  |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587052901  | 科目番号 / Course code                                       | 05870529             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 15411_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b14有害化学物質の管理と処理 / Management and Handling of Harmful Chemicals  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide, 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 久保 隆 / Kubo Takashi   |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟43 / RoomA-43   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・歯・情・工   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 環境科学部 環335  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2756  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 事前連絡があれば随時受け付ける。  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を学び、環境保全に関連してとるべき行動について理解を深める。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 有害化学物質による汚染事例等について自ら学び( )、議論や発表を通じて理解を深める( )。<br>また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに( )、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる( )。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | グループ内で分担した公害に関する調査を進める。また、講義で扱うテーマを提示するので、それ<br>についてネットなどを使って調べる。(2h)<br>講義資料を復習し、理解を深める。(2h)   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 実験廃液処理、公害、課題解決、リスク、化学物質管理制度   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。<br>参考書:「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人  |  |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  | 予習と復習を前提とする。  |  |                      |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students<br>with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。<br>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp   |  |                      |

| 備考/Remarks  | 授業は対面形式とオンライン形式のハイブリッド型で実施します。<br>具体的にはLACSで連絡します。   |
|---|--|
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！                           |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience   | N  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course |  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回   | ガイダンス：(オンライン)<br>科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。<br>課題探求と課題解決の方法について理解する。           |
| 第2回   | 実験時の安全：(オンライン)<br>実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。  |
| 第3回   | 安全・安心とリスク(その1)：(オンライン)<br>安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。                       |
| 第4回   | 安全・安心とリスク(その2)：(オンライン)<br>化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。                        |
| 第5回   | 毒性試験と毒性値：(対面)<br>毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。<br>GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。      |
| 第6回   | 基準値等の設定：(対面)<br>化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。  |
| 第7回   | 特定化学物質の取り扱い：(オンライン)<br>特定化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。  |
| 第8回   | 有機溶剤の取り扱い：(オンライン)<br>有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。   |
| 第9回   | 廃液処理システム：(対面)<br>本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。                             |
| 第10回  | 実験廃液処理施設の見学：(対面)<br>実施施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。また、廃液の分別の重要性を理解する。(受講人数や感染症の蔓延状況によっては実施できない場合がある。) |
| 第11回  | 廃液に関する課題解決(その1)：(対面)<br>本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。                                     |
| 第12回  | 廃液に関する課題解決(その2)：(対面)<br>本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。                                     |
| 第13回  | 公害に関する課題解決(その1)：(対面)<br>公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。                                |
| 第14回  | 公害に関する課題解決(その2)：(対面)<br>公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。                                |
| 第15回  | 総括：(対面)<br>講義の評価を行い、改善点等について考える。小テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。                  |

|   |  |  |                      |
|---|--|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11  |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective  | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587016501   | 科目番号 / Course code                                       | 05870165             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12981_005   |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b14廃棄物と土壌・地下水汚染 / Waste Management and Groundwater   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎<br>/ Kagabu Makoto   |  |                      |
| 授業担当教員名(科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi   |  |                      |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎<br>/ Kagabu Makoto   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール  |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4  | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟33 / RoomA-33  |  |                      |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工  |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | asakura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は @に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 廃棄物資源工学研究室(環境科学部3階、環350)   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2760   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 随時、事前に連絡をとること  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 水資源としての地下水利用、土壌・地下水汚染の現状、汚染の挙動解析法や対策技術などについて学ぶ。また、廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を学び、問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考える。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | <p>廃棄物問題、土壌・地下水汚染についての基本的事項を理解できるようになる。( )</p> <p>水資源としての地下水利用について説明することができるようになる。( )</p> <p>汚染の挙動解析法や対策技術について理解できるようになる。( )</p> <p>廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を理解できるようになる。( )</p> <p>廃棄物処理の問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考えることができるようになる。( )</p> <p>廃棄物処理の問題について、自主的に課題解決に取り組み、また、他と協働して解決につながる活動を模索できるようになる。( )</p>  |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society   |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the<br/>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from<br/>various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively<br/>utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate<br/>students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p> |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 「廃棄物問題」「地下水汚染」「土壌汚染」の3つのカテゴリーに分けて講義するので、それらのレポート(予習復習課題およびレポート課題=100点)を採点し、それらの平均とする。60点以上を合格とする。  |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照   |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 授業前に提示される資料や関連書籍に目を通しておくこと。(2h)<br>授業後は指示されたレポートにとりくみ、また、提示された資料や関連書籍に目を通すこと。<br>(2h)  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 水資源、廃棄物、土壌、地下水汚染、土壌汚染、対策技術   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 必要な資料は、LACSや印刷物で配布します。<br>特に定めないが、廃棄物、地下水学、土壌学に関するテキストに目を通すことをお勧めします。<br>例えば、地下水に関しては、藤縄克之著「環境地下水学」共立出版など。   |  |                      |

|   |  |
|---|--|
| 受講要件 (履修条件) / Prerequisites   |  |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。<br>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先<br>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br>(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks  | 授業は主に対面で実施されます。変更があれば、お知らせします。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | 講義内容と関連する書籍やテキストに目を通すこと  |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 朝倉 宏/建設コンサルタントにおける一般廃棄物処理基本計画作成/建設コンサルタントにおける実務経験を持つ教員が、各自治体で策定する一般廃棄物処理基本計画の策定の意義・方針・手法を指導する。/  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  |
| 第1回   | 「廃棄物と土壌・地下水汚染」とは(中川 啓 教員) (対面)   |
| 第2回   | 世界と日本の水資源と地下水の利用、地下水汚染(中川 啓 教員) (対面)   |
| 第3回   | 地下水水質の評価について(1)-利き水による官能試験実習(中川 啓 教員) (対面)   |
| 第4回   | 地下水水質の評価について(2)-簡易な水質測定とダイアグラムの描画実習(中川 啓 教員) (対面)  |
| 第5回   | ごみの削減目標と施策: 1. ごみの定義と削減に関する講義(朝倉 宏 教員) (対面)<br>ごみの削減目標と施策: 2. 長崎市のごみと削減に関する講義(朝倉 宏 教員) (対面)  |
| 第6回   | ごみ削減施策の作成作業時間(朝倉 宏 教員) (対面)  |
| 第7回   | 地下水とは-「量」の特徴(利部 慎 教員) (対面)   |
| 第8回   | 地下水とは-「水質」の特徴(利部 慎 教員) (対面)  |
| 第9回   | ごみの削減目標と施策: 3. 課題の相互チェックに関する講義(朝倉 宏 教員) (対面)   |
| 第10回  | 修正意見の作成作業時間(朝倉 宏 教員) (対面)  |
| 第11回  | 土壌汚染の特徴と土壌の性質(西山 雅也 教員) (対面)   |
| 第12回  | 土壌の性質を理解する(西山 雅也 教員) (対面)  |
| 第13回  | 土壌の性質と土壌汚染(西山 雅也 教員) (対面)  |
| 第14回  | 土壌汚染対策(西山 雅也 教員) (対面)  |
| 第15回  | まとめと講評(担当教員全員) (対面)  |

|   |   |   |                      |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                    | 月 / Mon 4, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |   |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587019301  | 科目番号 / Course code                                    | 05870193             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 12951_005  |   |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b15海洋生物の遺伝子多様性 / Genetic Diversity of Marine Organisms  |   |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 和田 実 / Wada Minoru, 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi  |   |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course  | 和田 実 / Wada Minoru  |   |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)  | 和田 実 / Wada Minoru, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi  |   |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |   |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                   | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育B棟15 / RoomB-15   |   |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環   |   |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | miwada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |   |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 総合研究棟 4階  |   |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2825  |   |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 来訪する際は事前にメールで連絡してください。  |   |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する。  |   |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できるようになる。  |   |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |   |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> It consists only of lectures from teachers |   |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 以下の項目を総合的に評価する。<br>1. 毎回の講義内容に関する自主学習の要約レポート作成・提出<br>2. 授業の総括レポート提出<br>配点は以下を予定。<br>1. 毎回レポート提出: 12回分 x10点満点 = 120点<br>(ただし、担当教員によってはレポートではなく、プレゼンテーションや小テストを課す場合がある。その場合も、採点は同様に行う。)<br>2. 2回分の総括レポート提出: 100点満点/回 x 2回 = 200点<br>これらの合計 (320点満点) を3.2で割り、1人あたりの得点 (100点満点) により評価する予定。<br><br>この他、開講期間中に変更が生じた場合は、連絡する。   |   |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |   |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 事前学習: 遺伝子および機能性高分子 (糖、脂質、タンパク質) に関して、参考図書や関連資料を読んでおくこと (2h)<br>事後学習: 学習した内容について授業後に必ずLACSの課題レポートとして提出すること (2h)  |   |                      |
| キーワード/Keywords  | 海洋生物、遺伝子、生物多様性、微生物、共生、機能性物質、遺伝子解析手法   |   |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 指定の教科書はないが、以下の参考書の通読を推奨する。<br>・「はじめて学ぶ生命科学の基礎」 畠山 智充、小田達也 編著、化学同人、ISBN 978-4-7598-1454-5、定価; 2,300円 + 税   |   |                      |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites  |   |   |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br/>         (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948<br/>         (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> |        |
|---|--|--------|
| 備考/Remarks  | この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。  |        |
| 学生へのメッセージ/Message for students  | <p>本授業では「海洋生物の遺伝子多様性」について「自主的に学ぶための指針」を提供することを心がけています。</p> <p>具体的には、海洋生物の遺伝子多様性に関わる課題について、「自ら調べた学習内容の発表」と「仲間の発表に対する評価」という2つを実践します。</p> <p>従来の座学中心ではないため、与えられた課題について事前に予習しておくことがとても大切になります。</p>   |        |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | Y  |        |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 和田 実 / 共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ / 実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。 /  |        |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |  |        |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents  | 授業手法 / |
| 第1回   | 全体説明   | A<br>B |
| 第2回   | 海洋微生物の遺伝子多様性 1   | A<br>B |
| 第3回   | 海洋微生物の遺伝子多様性 2   | A<br>B |
| 第4回   | 海洋微生物の遺伝子多様性 3   | A<br>B |
| 第5回   | 共生の多様性 1   | A<br>B |
| 第6回   | 共生の多様性 2   | A<br>B |
| 第7回   | 共生の多様性 3   | A<br>B |
| 第8回   | 前半の総括  | A<br>B |
| 第9回   | 機能性物質の多様性 1  | A<br>B |
| 第10回  | 機能性物質の多様性 2  | A<br>B |
| 第11回  | 機能性物質の多様性 3  | A<br>B |
| 第12回  | 生物多様性の解析 1   | A<br>B |
| 第13回  | 生物多様性の解析 2   | A<br>B |
| 第14回  | 生物多様性の解析 3   | A<br>B |
| 第15回  | 後半の総括  | A<br>B |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 5, 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587017301  | 科目番号 / Course code                                       | 05870173             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 13001_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b15海洋環境と化学物質 / Bioactive Compounds from Marine Environment  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus   | 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa   |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course   | 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)   | 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育B棟15 / RoomB-15   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)   | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | fumito nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 水産学部新館 1階   |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 095-819-2833  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 授業の前後が望ましい  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 海洋の生物には、薬理活性物質や魚介類の毒(マリントキシン)など、僅かな量で生物の生理や行動に対して特異的な作用を及ぼす物質(生理活性物質)を持っているものがある。本講義では、微量成分の量や組成を分析する方法や分離した有機化合物の化学構造を解析する方法の原理など、分析化学の基礎を習得すると共に、海洋の生物が生産する有機化合物の構造、種類、生理作用等について学ぶ。さらに、長崎県とその近傍における魚介毒に関する問題点や地域の特産品についての話題を提供する。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 有機化合物の分離・分析方法や構造解析法の基礎原理について説明できるようになること。海洋の生理活性物質の種類、構造、生理作用等について説明できるようになること。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking  | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br>/ Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br>/ Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br>/ Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br>/ Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br>/ Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br>/ It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 小テスト・レポート等(60%), 授業への参加度(40%)   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course<br>contents of each lesson  | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 事前学習: 海洋の生理活性物質に関するトピックスを、新書等の書籍、ビデオ、新聞記事などを用<br>い調べておく。(2h)<br>事後学習: 講義内容の復習を行っておくこと(2h)   |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 分析化学, 物質の単離と精製, 機器分析, 海洋天然物, マリントキシン, 生理活性物質  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 参考書<br>「物質の単離と精製」、大岳望他、東京大学出版会<br>「海洋生物のケミカルシグナル」、伏谷伸宏他、講談社サイエンティフィック<br>「基礎分析化学」<br>「有機化合物のスペクトル解析入門」、L.M.ハーウッド他、化学同人  |  |                      |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites  | 特に受講要件は設定しないが、高等学校の「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」程度<br>の化学及び生物に関する基礎知識を習得していることが好ましい。  |  |                      |

|  |  |             |
|--|--|-------------|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |             |
| 備考/Remarks   | 基本的にはすべての回の授業を対面で行いますが、変更が生じた場合はLACSにてお知らせします。   |             |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | フグの毒などの海の生物が作る生理活性物質に興味がある方の受講を勧めます。   |             |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N  |             |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course |  |             |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |             |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  | 授業手法 /      |
| 第1回(4/10)  | 担当：荒川 修<br>海洋の生理活性物質に関するトピックス，レポート作成   | A           |
| 第2回(4/11)  | 担当：荒川 修<br>海洋の生理活性物質：一次代謝産物，分子模型演習   | C           |
| 第3回(4/17)  | 担当：石橋 郁人<br>海洋の生理活性物質：二次代謝産物   | F           |
| 第4回(4/18)  | 担当：石橋 郁人<br>海洋の生理活性物質に関するグループワーク：資料作成  | B           |
| 第5回(4/24)  | 担当：石橋 郁人<br>海洋の生理活性物質に関するグループワーク：プレゼンテーションと質疑応答  | B           |
| 第6回(4/25)  | 担当：石橋 郁人<br>海洋の自然毒に関するトピックス（DVD鑑賞、講義）、レポート作成   | A           |
| 第7回(5/8)   | 担当：石橋 郁人<br>化学物質の分離・分析：HPLC、ELISAなど（DVD鑑賞、講義）  | F           |
| 第8回(5/9)   | 担当：荒川 修<br>化学物質の分離・分析：TLCによる茶葉色素の分析（演習）、レポート作成   | A<br>B<br>C |
| 第9回(5/15)  | 担当：荒川 修<br>化学物質の構造解析：MS、NMR（DVD鑑賞、講義）  | F           |
| 第10回(5/16)   | 担当：荒川 修<br>化学物質の構造解析：簡単なNMRスペクトル解析（演習）   | A<br>B<br>C |
| 第11回(5/22)   | 担当：高谷 智裕<br>有毒・有害微細藻類に関する話題（講義）  | F           |
| 第12回(5/23)   | 担当：高谷 智裕<br>有毒・有害微細藻類に関する話題（意見交換およびレポート作成）   | A<br>B      |
| 第13回(5/29)   | 担当：高谷 智裕<br>海洋毒に関する演習1   | A<br>B<br>C |
| 第14回(5/30)   | 担当：高谷 智裕<br>海洋毒に関する演習2   | A<br>B<br>C |
| 第15回(6/5)  | 担当：高谷 智裕<br>海洋環境と化学物質に関するレポートの作成   | A<br>B      |

|  |   |  |                      |
|--|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester  | 2023年度 / Academic Year 1クオ<br>ーター / First Quarter   | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Course duration   | 2023/04/01 ~ 2023/06/11   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective   | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code  | 20230587020501  | 科目番号 / Course code                                       | 05870205             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code   | GEMB 14731_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title   | b16海洋の生物と科学 / Marine Fishes and Applied Science   |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the<br>course syllabus  | 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi  |  |                      |
| 授業担当教員名 (科目責任者)<br>/ Instructor in charge of the course  | 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka  |  |                      |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等)<br>/ Instructor(s)  | 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi  |  |                      |
| 科目分類 / Course Category   | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year   | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room  | 教養教育A棟41 / RoomA-41   |  |                      |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環の  |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address  | 阪倉 : sakakura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)   |  |                      |
| 担当教員研究室/Office   | 水産増殖学研究室 (総合教育研究棟 4 階)  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel  | 阪倉 (2823)、征矢野 (850-7701)、萩原 (2830)  |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours   | 火曜日 5 校時  |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview  | 海洋生物資源の生産・培養に関する原理や方法などについて、現代社会における実課題例を交えながら学ぶ。ここで挙げる実課題とは、世界的な課題のみならず、我が国有数の養殖県である長崎県の事例も取り上げる。このように、海洋と海洋生物の科学について基礎から応用まで多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。   |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals  | 海の生物と人との関わりを理解する。養殖に関するグローバルな動向と長崎県の位置付けも併せて理解する。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than<br>knowledge and skills acquired mainly through<br>the course ( pick 1 to 3 ) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding<br>Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability<br>to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching<br>method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the<br>degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from<br>various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively<br>utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate<br>students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation   | レポート, 期末試験 (70%)<br>授業への参加状況 (30%)<br>合計で60%以上を取れた者に単位を与える。   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course<br>contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review  | 講義内容を効率良く理解するため、そして講義中になされる教員の質問に解答することができるためにも、その回に取り上げられるトピックを予習しておくことが推奨される (2h程度)。この講義で扱う分野は多岐にわたるとともに、相互に関連している。各試験の直前に復習したのでは、正確な理解を身につけることは難しいため、毎回復習すること (2h程度)。  |  |                      |
| キーワード/Keywords   | 多様性・プランクトン・魚類・繁殖・生態・養殖・長崎県  |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials   | 講義資料を適宜配布する。<br>また、それらの一部はLACS上で公開する。   |  |                      |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites   |   |  |                      |

|  |  |
|--|--|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考/Remarks   | 授業は対面形式とオンライン形式のハイブリット型で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。  |
| 学生へのメッセージ/Message for students   | 身近のニュースなどで漁業や農業関係のものにも目を向けてみましょう。<br>生命現象の基礎科学が応用（養殖）にどのように結びつくのかという視点を持って欲しい。   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか<br>(Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N  |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course |  |
| 授業計画詳細 / Course Schedule   |  |
| 回(日時) / Time(date and time)  | 授業内容 / Contents  |
| 第1回  | ガイダンス<br>本講義の概要<br>世界、日本および長崎県の養殖業について   |
| 第2回  | 魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用  |
| 第3回  | 魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用  |
| 第4回  | 魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用  |
| 第5回  | 魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用  |
| 第6回  | 魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用  |
| 第7回  | 餌料プランクトン研究とその養殖業への応用   |
| 第8回  | 餌料プランクトン研究とその養殖業への応用   |
| 第9回  | 餌料プランクトン研究とその養殖業への応用   |
| 第10回   | 餌料プランクトン研究とその養殖業への応用   |
| 第11回   | 餌料プランクトン研究とその養殖業への応用   |
| 第12回   | 魚類種苗生産の現状  |
| 第13回   | 魚類種苗生産の現状  |
| 第14回   | 魚類種苗生産の現状  |
| 第15回   | 定期試験   |

|   |   |  |                      |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester   | 2023年度 / Academic Year 2クオ<br>ーター / Second Quarter  | 曜日・校時 / Day・Period                                       | 月 / Mon 4, 月 / Mon 5 |
| 開講期間 / Course duration  | 2023/06/12 ~ 2023/09/27   |  |                      |
| 必修選択 / Required / Elective  | 選択 / elective   | 単位数(一般/編入/留学) / Credits<br>(General / Transfer/Overseas) | 2.0/2.0/2.0          |
| 時間割コード / Time schedule code   | 20230587054301  | 科目番号 / Course code                                       | 05870543             |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code  | GEMB 15441_005  |  |                      |
| 授業科目名 / Course title  | b16環境関連法とアセスメント / Environmental Assessment and Related Domestic Laws  |  |                      |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus  | 近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji   |  |                      |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course   | 近藤 能子 / Yoshiko Kondo   |  |                      |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)   | 近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji   |  |                      |
| 科目分類 / Course Category  | 全学モジュール 科目, 教養モジュール   |  |                      |
| 対象年次 / Intended year  | 2, 3, 4   | 講義形態 / Course style                                      | 講義 / Lecture         |
| 教室 / Class room   | 教養教育A棟33 / RoomA-33   |  |                      |
| 対象学生(クラス等) / Intended year (class)  | 医・保・歯・情・工・環   |  |                      |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address   | 近藤(yoshikondo nagasaki-u.ac.jp) *科目責任者<br>竹内(stakeuchi nagasaki-u.ac.jp)<br>竹下(juniper nagasaki-u.ac.jp)<br>久保(kubo-t nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)  |  |                      |
| 担当教員研究室/Office  | 科目責任者(水産学部本館3階A86)  |  |                      |
| 担当教員TEL/Tel   | 科目責任者(095-819-2840)   |  |                      |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours  | 科目責任者(研究室にて随時(平日10時~17時))   |  |                      |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview   | 環境問題に関する考え方、国際環境法や国内の環境基本法の理念について学び、現在の海洋環境問題を捉えていく。水質汚濁や護岸工事等の公共事業から自然環境を保全・修復していくことを目的とした環境アセスメントの手法やその評価について、また、海洋生態系の劣化を抑制していく技術革新について考えていきます。  |  |                      |
| 授業到達目標/Course goals   | 海洋などの水圏環境で起きている環境問題について列挙し、その問題の本質や、利害関係、矛盾点、解決への施策について、知識を元に議論することができ、また、第3者にわかりやすく説明することが出来るようにします。   |  |                      |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society  |  |                      |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking   | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 <br> / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over<br>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 <br> / Activities involving others to think from various perspectives<br>C. 技能修得のために実践する活動 <br> / Activities to practice for acquiring skills<br>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 <br> / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems<br>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 <br> / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above<br>F. 教員からの講義のみで構成される <br> / It consists only of lectures from teachers |  |                      |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation  | 授業に取り組む姿勢(出席状況に加え、ディベート等での点数、小テスト等への回答)で60%、授業で課されるレポート(アンケート等を含む)で40%の点数をつけます。60%以上で合格とし、期末試験はありません。   |  |                      |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson   | 詳細は授業計画詳細を参照  |  |                      |
| 事前、事後学修の内容/Preparation & Review   | 授業で取り扱ったテーマ、理論、用語について復習すること(2~4h)。  |  |                      |
| キーワード/Keywords  | 海洋環境、環境関連法、アセスメント   |  |                      |
| 教科書・教材・参考書/Materials  | 教材・資料は毎回授業開始時に印刷で配布するか、LACS経由にてアップロードして電子ファイルとして配布する。   |  |                      |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites  | 全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。   |  |                      |

| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)   | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。<br>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先<br>（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948<br>（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|---|---|
| 備考/Remarks  | 授業の実施方法は基本的には対面方式で行いますが、状況によってはオンライン形式となる場合もあります。<br>実施形式については事前にLACS経由で連絡をします。   |
| 学生へのメッセージ/Message for students  |   |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience  | N   |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course |   |
| 授業計画詳細 / Course Schedule  |   |
| 回(日時) / Time(date and time)   | 授業内容 / Contents   |
| 第1回   | (竹内) 海底生態系と環境影響評価(その1) :<br>主に海底生態系保全における環境影響評価の重要性を理解し、簡潔にまとめてもらいます。   |
| 第2回   | (竹内) 海底生態系と環境影響評価(その2) :<br>海底鉱物資源開発が深海底生態系へ及ぼす影響と、その対策に向けた近年の研究動向を理解し、簡潔にまとめてもらいます。  |
| 第3回   | (久保) 国際環境法の歴史と特質, 人間環境宣言 :<br>環境に対する基本的な考え方(環境倫理等), 二国間の紛争解決のための条約から国際共同体全体の利益を管理する取組へと移行した歴史と現代の国際環境法の特質, 更にその移行の転機となった「人間環境宣言」の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。   |
| 第4回   | (竹下) ソフト・ロー的文書 :<br>法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書の中から, 世界自然憲章, 森林原則声明, 環境と開発に関するリオ宣言及びアジェンダ21の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。  |
| 第5回   | (久保) 第二世代の国際環境法(その1) :<br>第二世代の代表的な国際環境法のうち, 生物多様性条約及び気候変動枠組条約の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。  |
| 第6回   | (竹内) 海底生態系と環境影響評価(その3) :<br>環境影響評価が海底生態系の保全にどのように役立てられているのかを理解し、簡潔にまとめてもらいます。   |
| 第7回   | (近藤) 海洋における土木工事や発電所建設等に伴う海洋環境アセスメントの実態、アセスメント会社の仕事内容、水産学部における海洋調査の内容、民間業者等による海洋環境の復元事業などについて、紹介していきます。  |
| 第8回   | (近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題について、生物・化学的な調査、司法判断等の多方面からのレクチャを行います。   |
| 第9回   | (近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題についてのレクチャの続きに加え、その是非や、今後のあるべき展開についてレポートしてもらいます。   |
| 第10回  | (近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャを行います。   |
| 第11回  | (近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャの続きとこれからの海洋環境・生態系保全についてレポートをしてもらいます。   |
| 第12回  | (竹下) 第二世代の国際環境法(その2) :<br>第二世代の代表的な国際環境法のうち, パーゼル条約の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。   |
| 第13回  | (久保) 日本の環境と環境政策 :<br>日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史, さらに国際環境法との関係等を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。  |
| 第14回  | (竹下) 環境基本法 :<br>日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要, 目的, 基本理念及び各主体の責務を中心に理解し, 簡潔にまとめてもらいます。  |
| 第15回  | (竹下) 環境基本計画 :<br>日本における環境政策の基本となる環境基本計画の概要を中心に理解し, 簡潔にまとめてもらいます。  |